
龍ヶ崎のまちづくりに関する
アンケート調査
(WEB アンケート)
結果報告書

令和5年9月
龍ヶ崎市

－ 目 次 －

1. WEB アンケート調査概要	1
1.1. 調査目的.....	1
1.2. 調査対象者	1
1.3. 調査方法.....	1
1.4. 調査期間.....	1
2. 回収結果	1
3. 集計結果	2
3.1. 回答者属性	2
3.2. 定住意識（市内居住者対象）	23
3.3. 生活環境（市内居住者対象）	31
3.4. 魅力や課題	34
3.5. 今後のまちづくり	48
3.6. コロナ禍と現在での生活の変化	56
3.7. 龍ヶ崎のまちづくりについての意見.....	59

1. WEB アンケート調査概要

1.1. 調査目的

本調査は、市内在住者だけでなく、龍ヶ崎市に関わりのある市外在住者も含めて、まちづくりに対する現状認識や、将来のまちづくりに向けた意向を把握し、都市計画マスタープランの見直しの基礎資料とすることを目的として実施したものである。

1.2. 調査対象者

龍ヶ崎市内外問わずアンケートの案内を閲覧した方（龍ヶ崎市公式 HP、LINE、自治会回覧等で周知。調査対象者の総数は不明。）

1.3. 調査方法

Google form による調査（無記名）

1.4. 調査期間

令和 5 年 7 月中旬頃～令和 5 年 8 月 25 日（金）

2. 回収結果

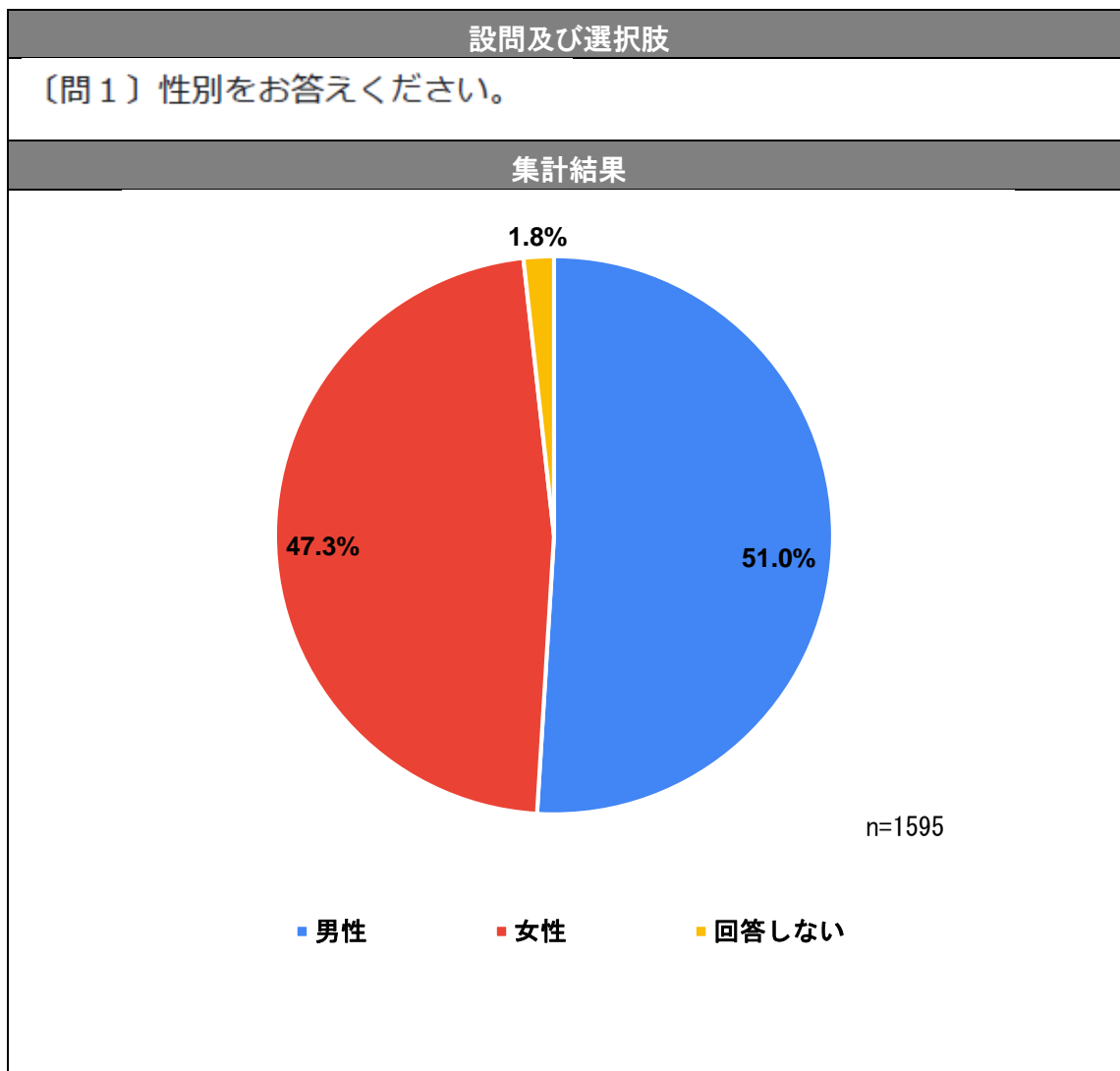
- ・回収票数：1595 票
- ・有効回答票数：1595 票

3. 集計結果

3.1. 回答者属性

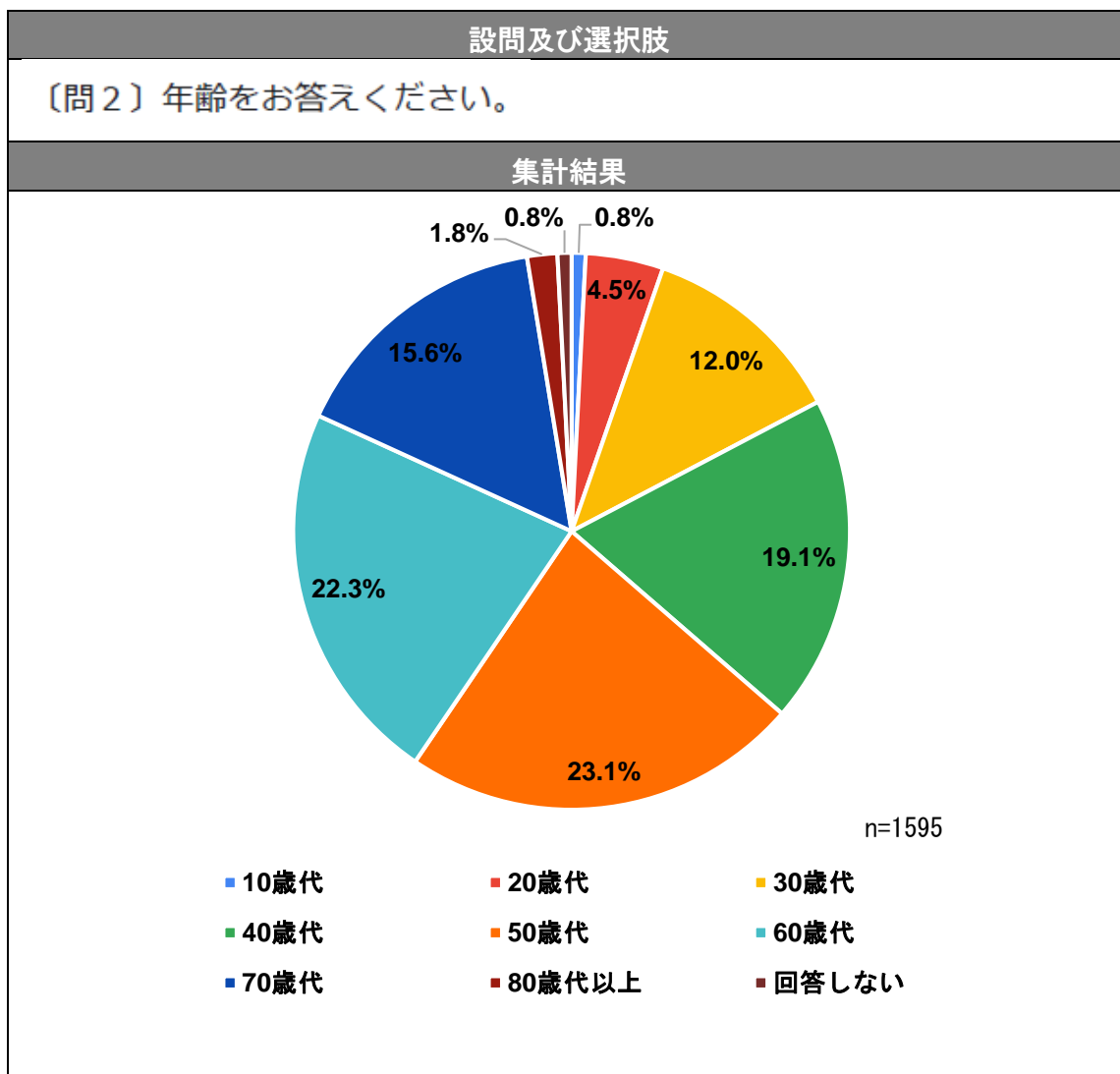
(1) 性別

全体の 51.0%が「男性」、47.3%が「女性」となっている。



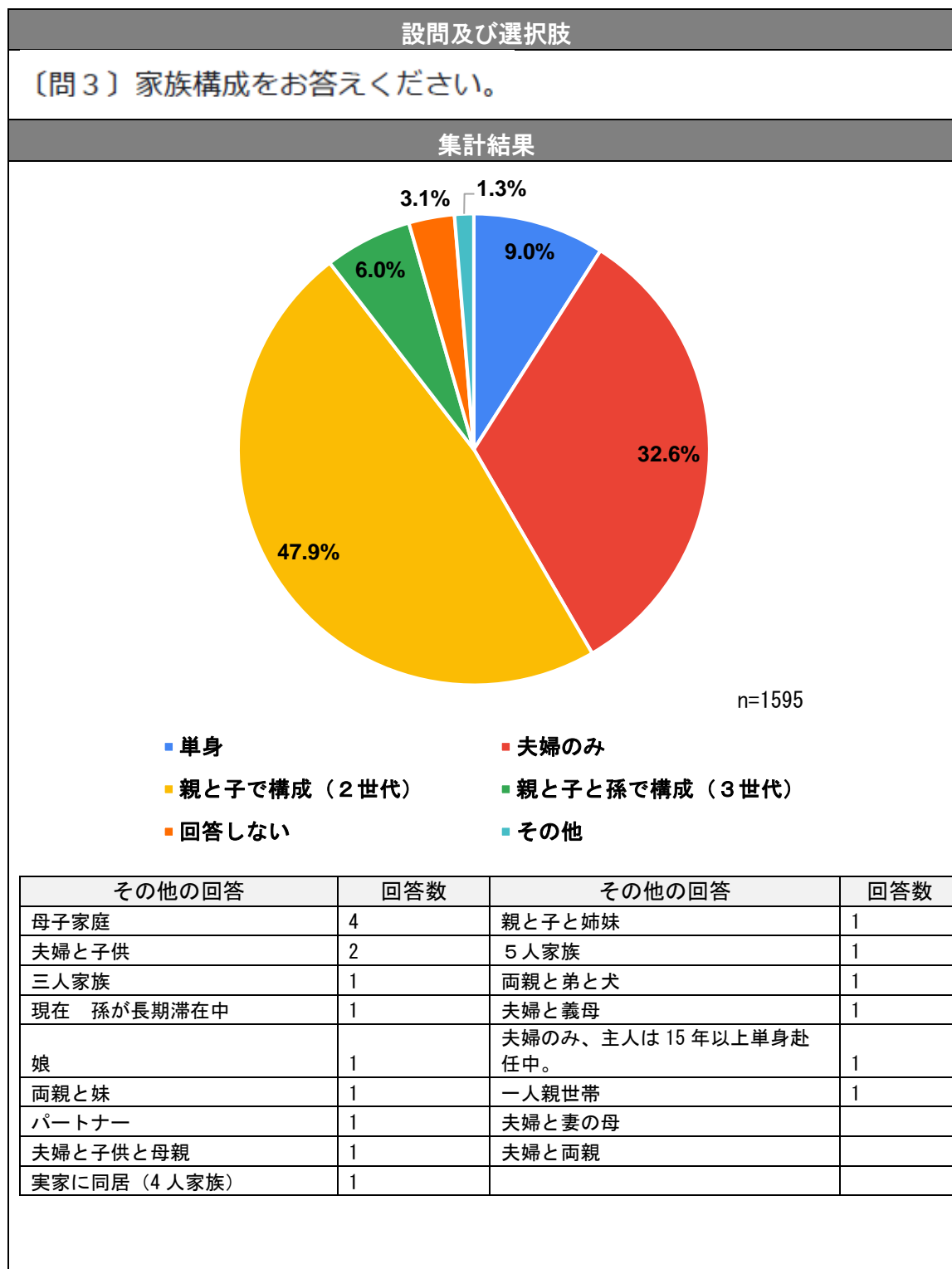
(2) 年齢

「50歳代」が23.1%で最も高く、次いで「60歳代」が22.3%、「40歳代」が19.1%の順となっている。



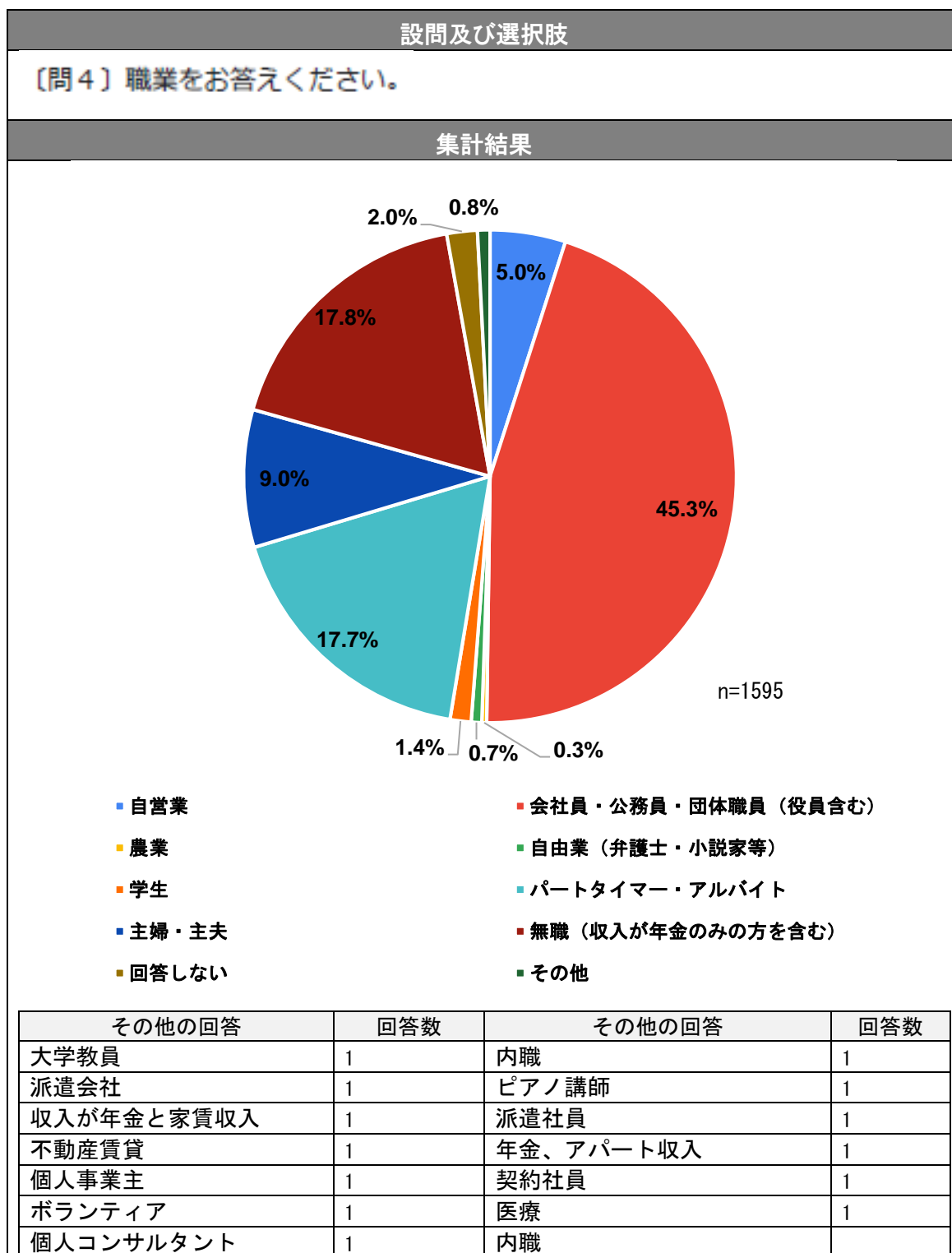
(3) 家族構成

「親と子で構成（2世代）」が47.9%で最も高く、次いで「夫婦のみ」が32.6%、「単身」が9.0%の順となっている。



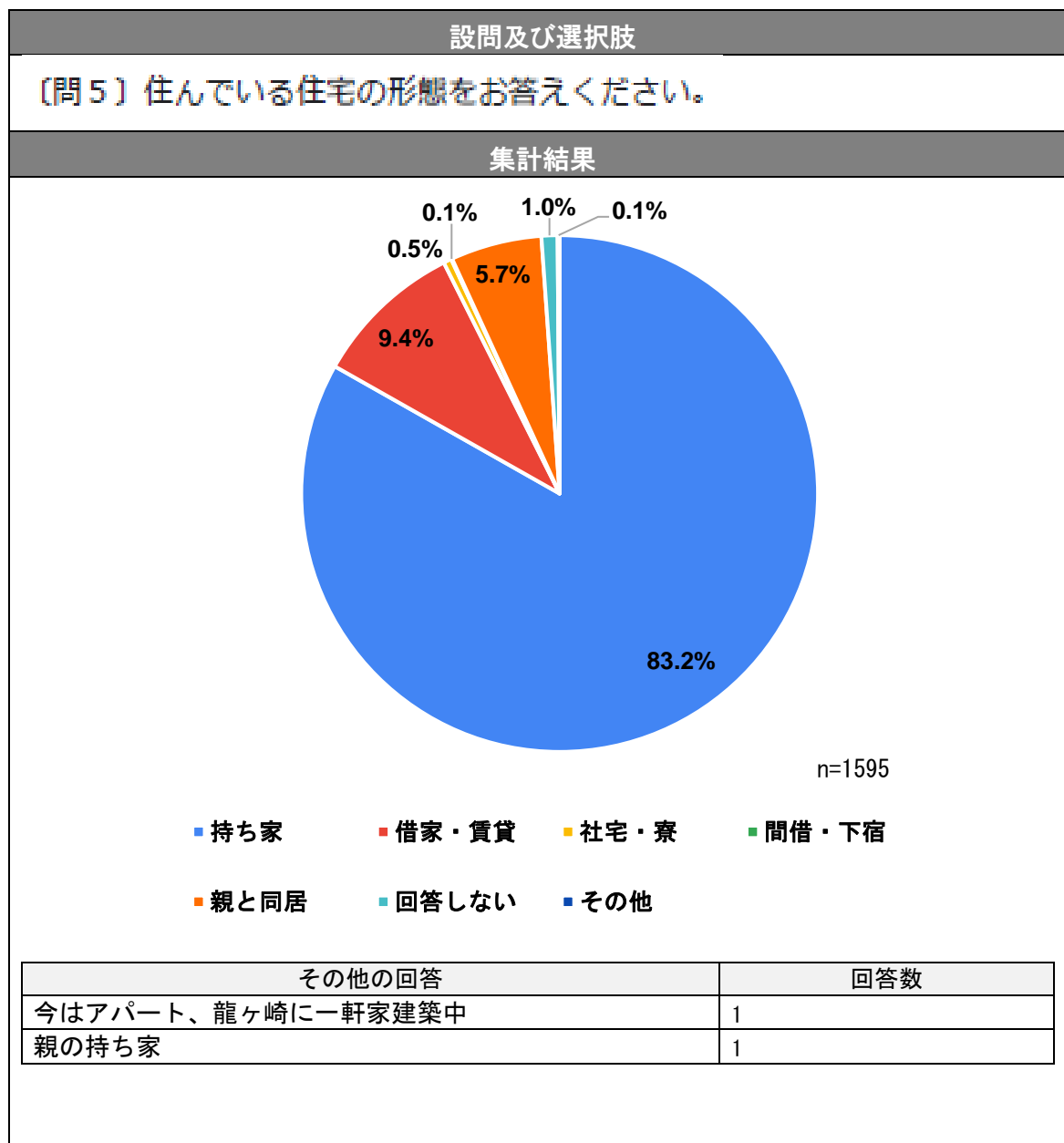
(4) 職業

「会社員・公務員・団体職員（役員含む）」が 45.3%で最も高く、次いで「無職（収入が年金のみの方を含む）」が 17.8%、「パートタイマー・アルバイト」が 17.7%の順となっている。



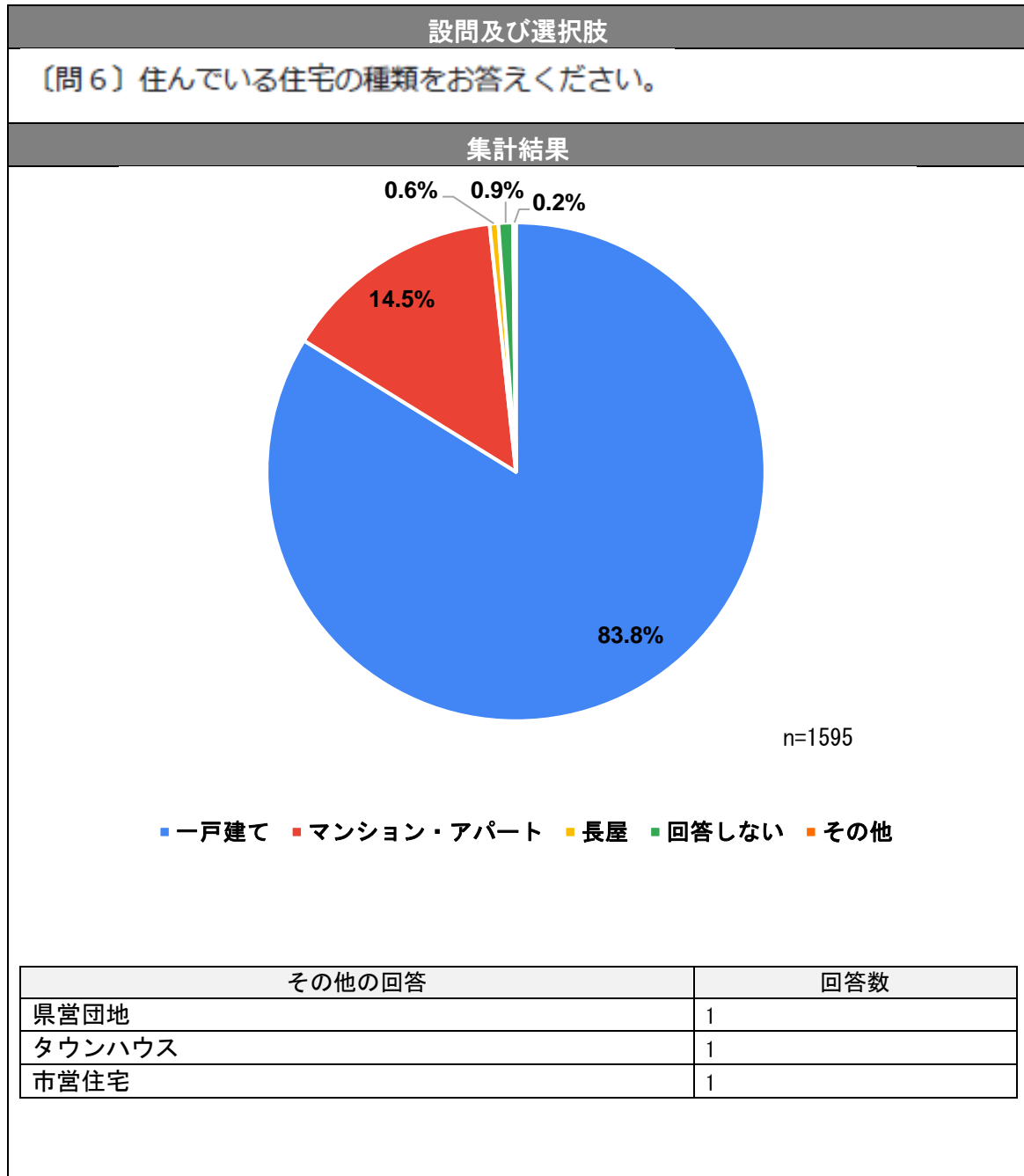
(5) 住宅（住宅の形態）

「持ち家」が83.2%で最も高く、次いで「借家・賃貸」が9.4%、「親と同居」が5.7%の順となっている。



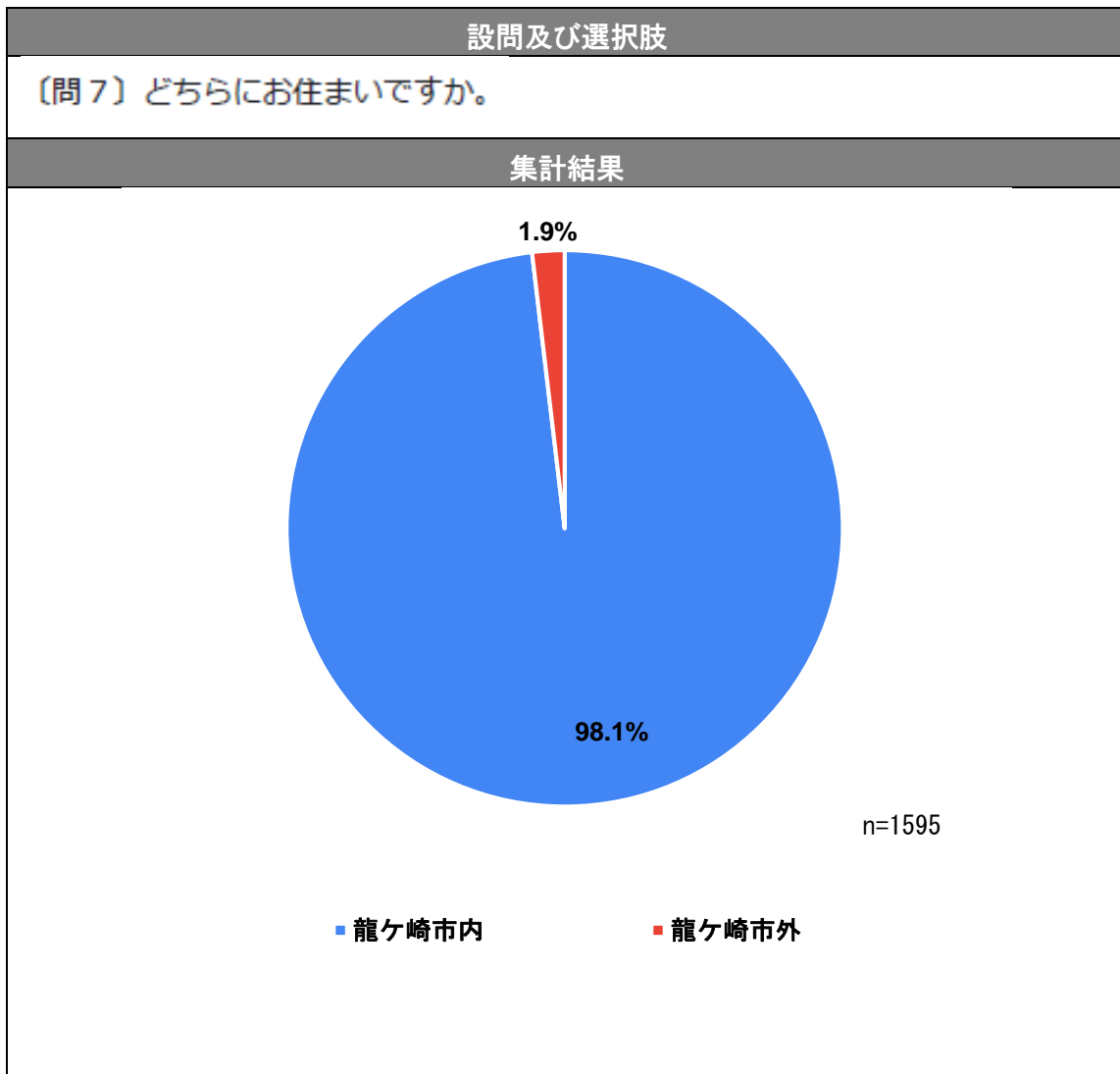
(6) 住宅（住宅の種類）

「一戸建て」が 83.8%で最も高く、次いで「マンション・アパート」が 14.5%、「回答しない」が 0.9%の順となっている。



(7) 居住地

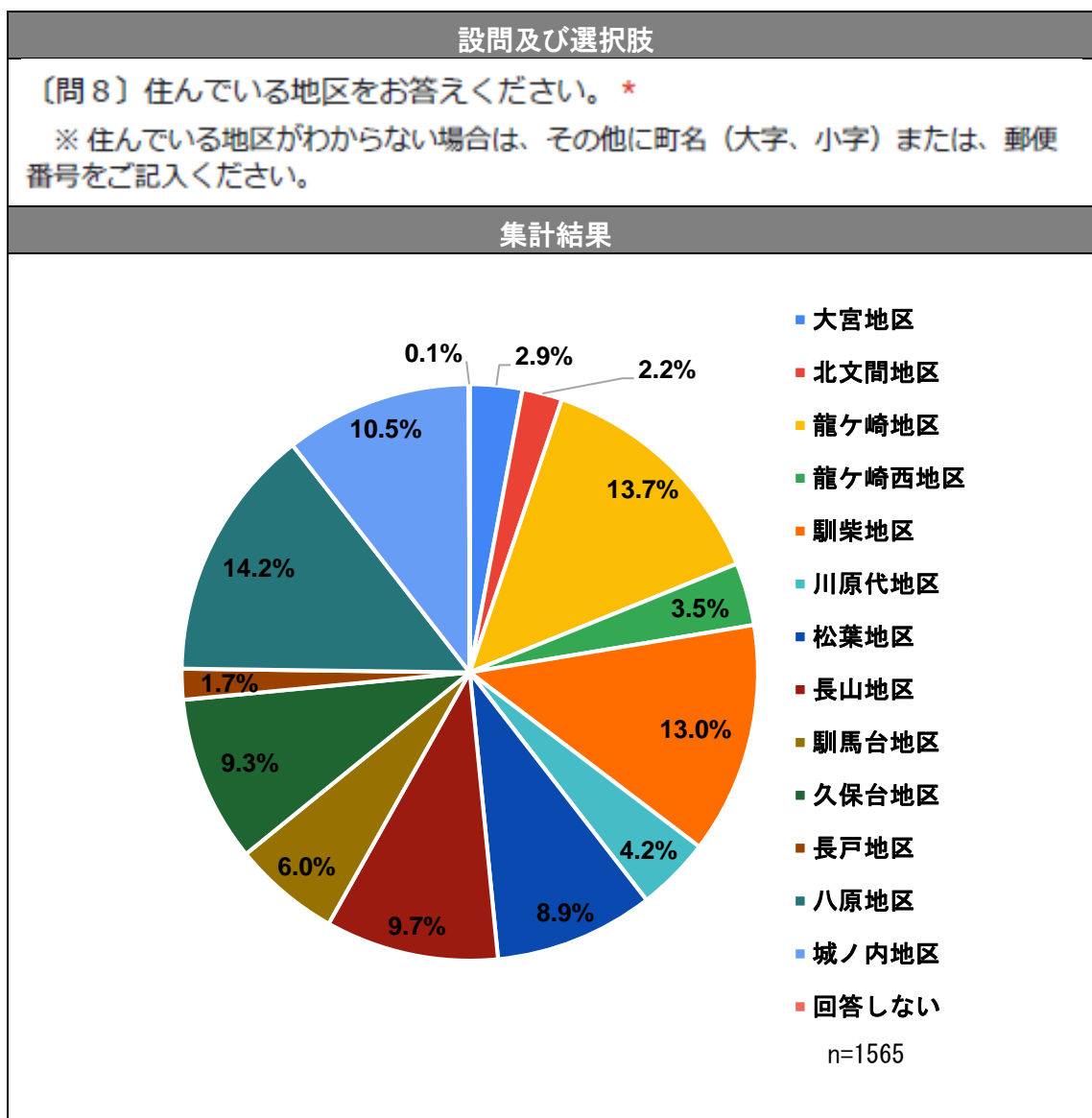
龍ヶ崎市居住者が 98.1%、龍ヶ崎市外居住者が 1.9%となっている。



(8) 市内居住者対象

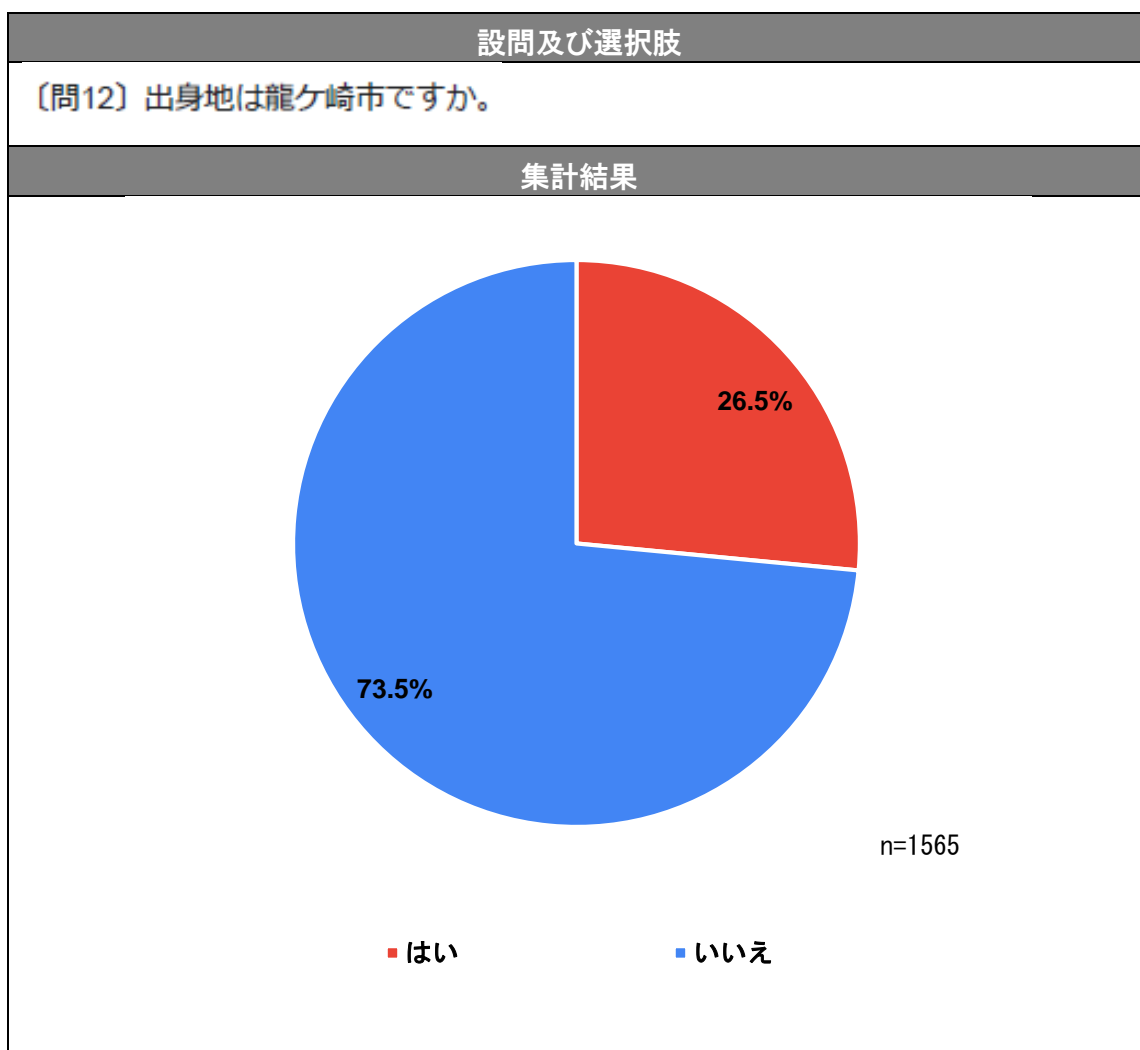
1) 居住地区

「八原地区」が14.2%で最も高く、次いで「龍ヶ崎地区」が13.7%、「駒柴地区」が13.0%の順となっている。



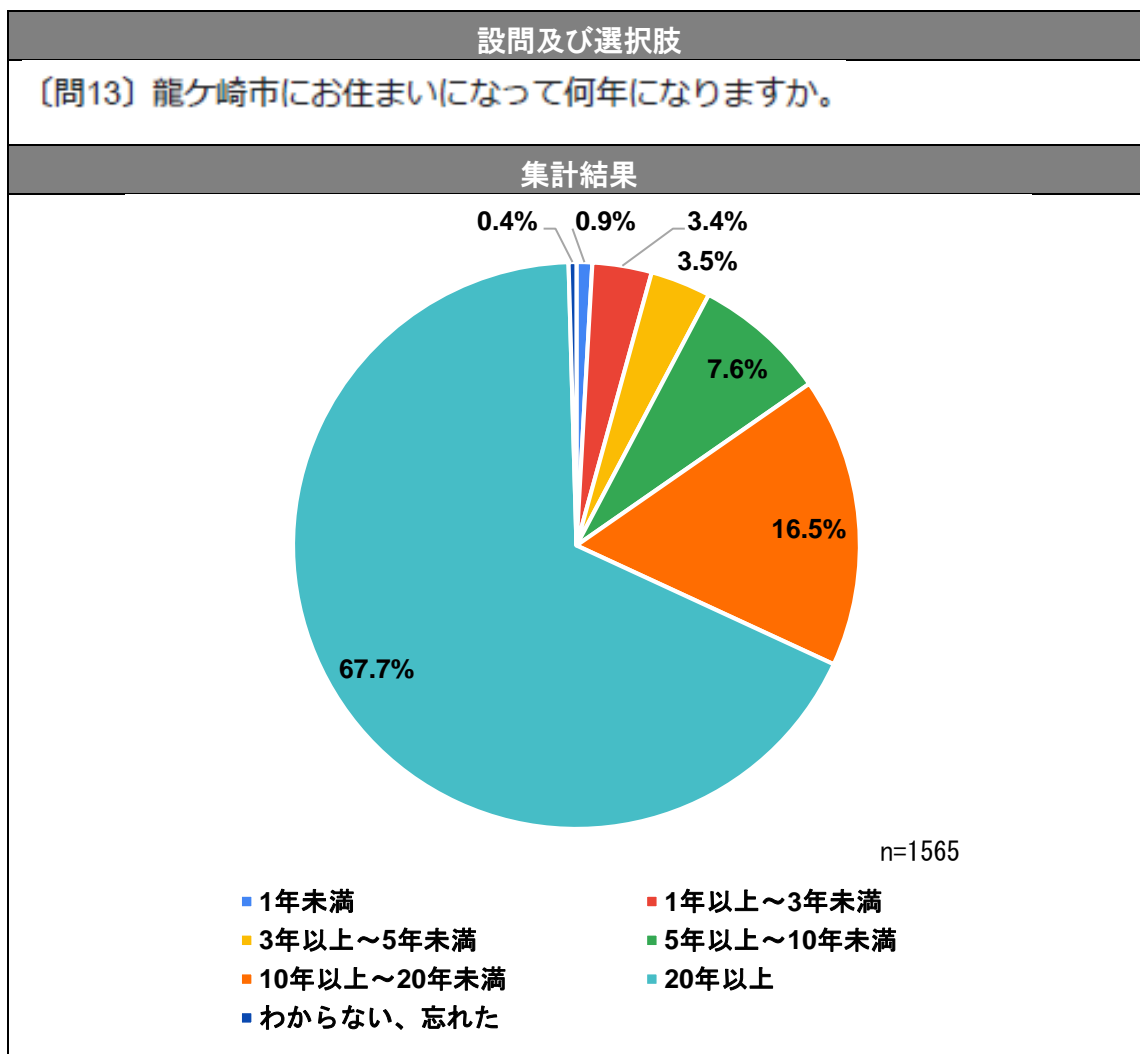
2) 出身地

龍ヶ崎市出身者が 26.5%、龍ヶ崎出身ではない者が 73.5%となっている。



3) 龍ヶ崎在住年数

「20年以上」が67.7%で最も高く、次いで「10年以上～20年未満」が16.5%、「5年以上～10年未満」が7.6%の順となっている。



4) 過去の居住地

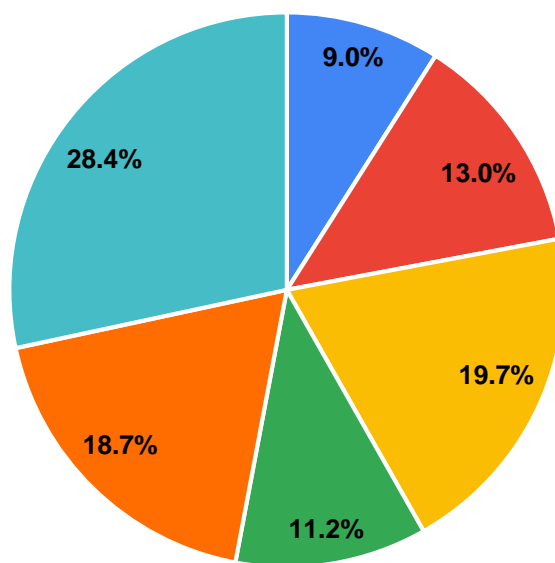
「その他」が 28.4%で最も高く、次いで「隣接の市町※」が 19.7%、「千葉県」が 18.7%の順となっている。

設問及び選択肢

〔問14〕現在の場所に住まれる前は、どこにお住まいでしたか。*

※ 茨城県、千葉県以外の県にお住まいの場合は、その他に都道府県名をご記入ください。

集計結果



n=1565

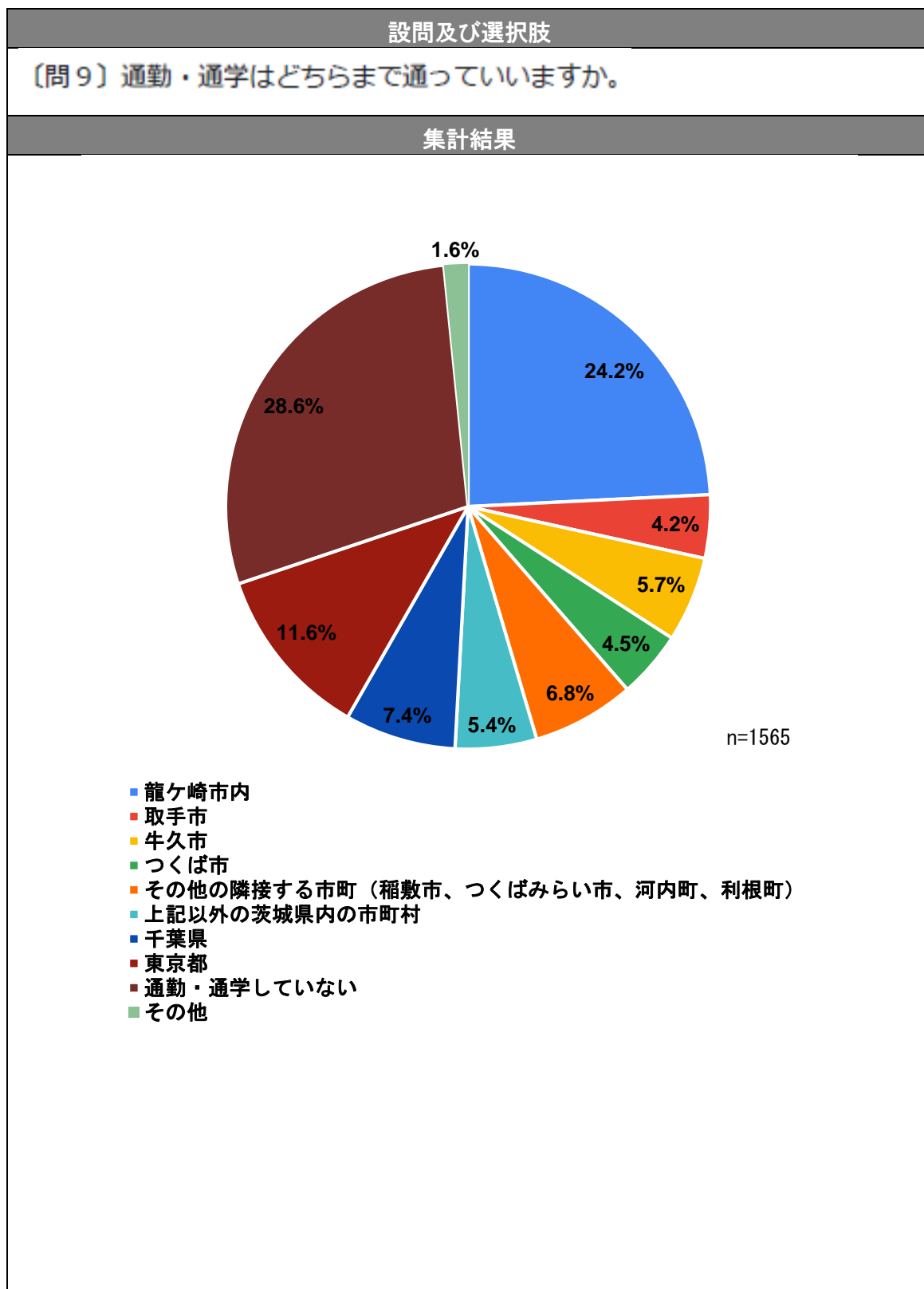
- 生まれてからずっと今の場所
- 龍ヶ崎市内の他の場所
- 隣接の市町※
- その他の茨城県内の市町村
- 千葉県
- その他

※牛久市、稲敷市、河内町、利根町、取手市、つくばみらい市、つくば市

その他の回答	回答数
東京都	182
神奈川県	73
埼玉県	64
福島県	11
大阪府	11
海外	9
愛知県	7
栃木県	7
福岡県	6
北海道	5
静岡県	5
宮城県	5
兵庫県	5
群馬県	4
長野県	4
茨城県	4
三重県	3
東京都、神奈川県	2
滋賀県	2
青森県	2
岡山県	2
新潟県	2
関西	2
大分県	2
京都府	2
熊本県	2
県外	1
近畿地方	1
愛知県、福岡県	1
愛知県、岐阜県、東京都	1
秋田県、北海道県、埼玉県、山形県	1
群馬県、埼玉県	1
長野県、東京都	1
京都府、東京都	1
福島県、千葉県	1
埼玉県、神奈川県	1
千葉県、埼玉県	1
秋田県	1
山形県	1
千葉県	1
山梨県	1
岐阜県	1
鳥取県	1
広島県	1
山口県	1
鹿児島県	1
沖縄県	1

5) 通勤・通学の場所

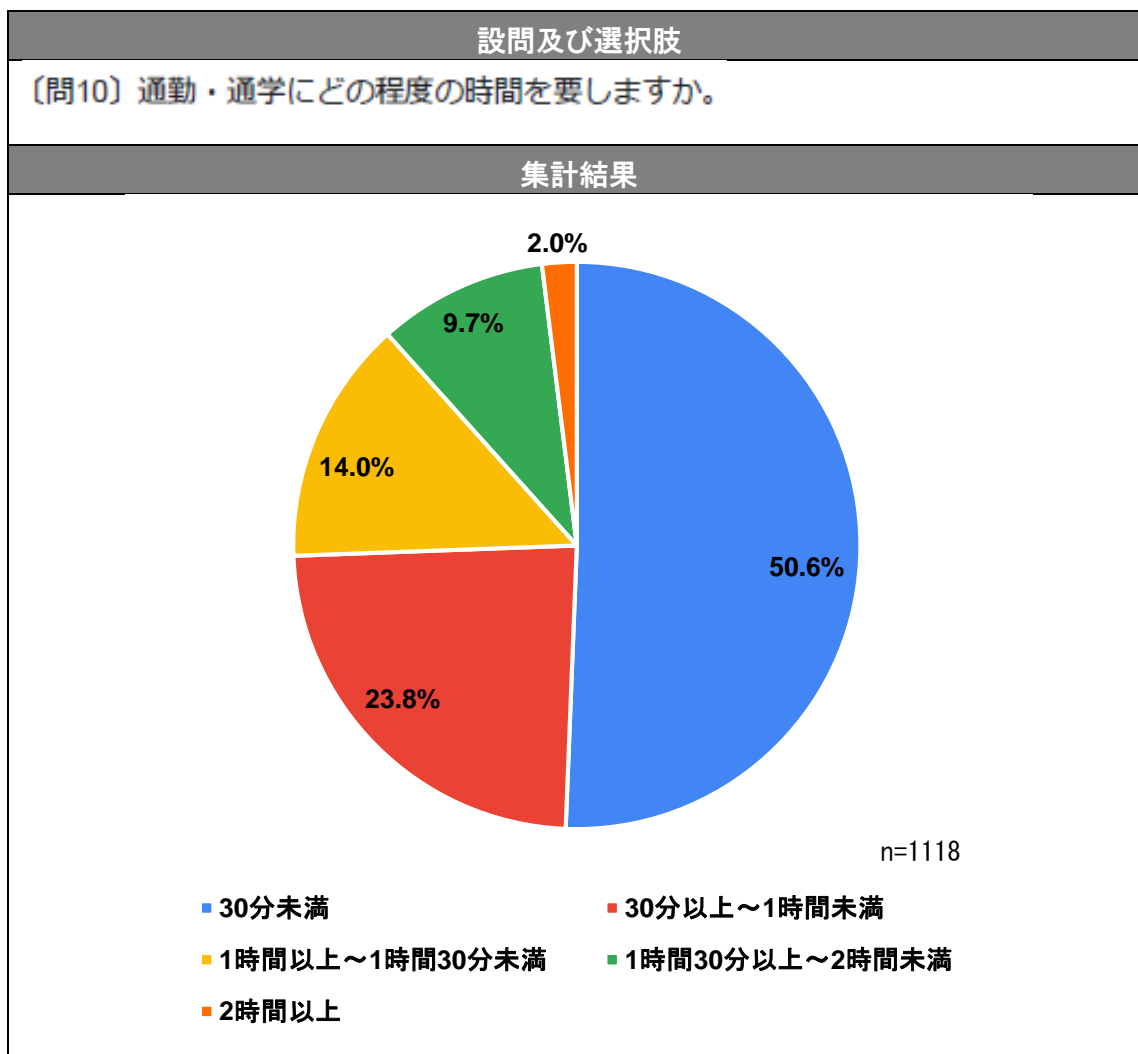
「通勤・通学していない」が28.6%で最も高く、次いで「龍ヶ崎市内」が24.2%、「東京都」が11.6%の順となっている。



その他の回答	回答数
無職	3
神奈川	2
市外 県外と様々	1
育休中	1
訪問先によって様々	1
福島、栃木、千葉、茨城	1
色々	1
埼玉県八潮市	1
神奈川県	1
単身赴任（いわき市）	1
埼玉県八潮市	1
日々現場により異なる	1
阿見	1
在宅	1
通勤無し	1
稲敷市	1
自宅が教室	1
年金生活者	1
河内町	1
回答しない	1
水戸市	1
リモートワークで月に2回東京都へ出勤	1

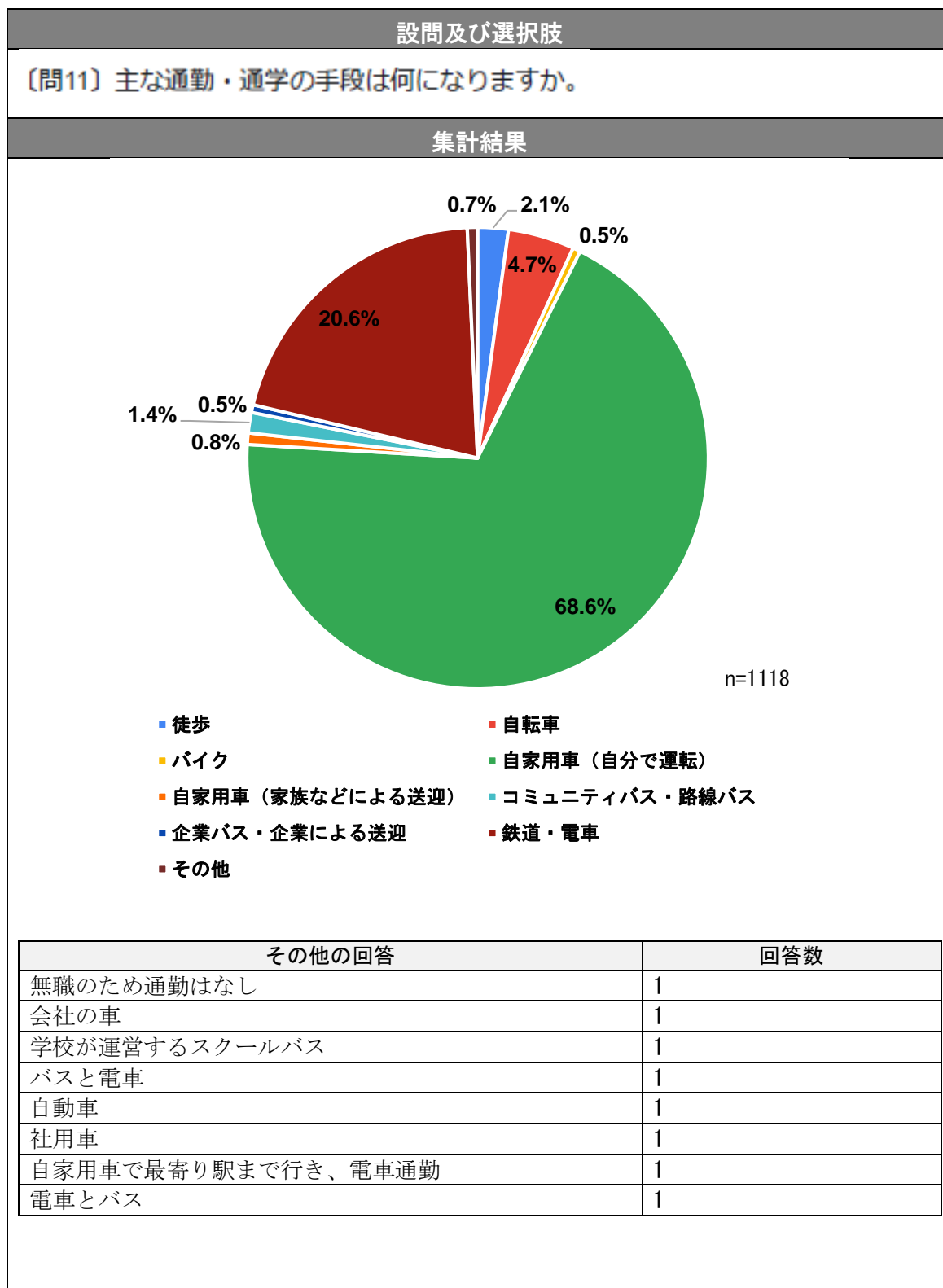
6) 通勤・通学の時間

「30分未満」が50.6%で最も高く、次いで「30分以上～1時間未満」が23.8%、「1時間以上～1時間30分未満」が14.0%の順となっている。



7) 通勤・通学的手段

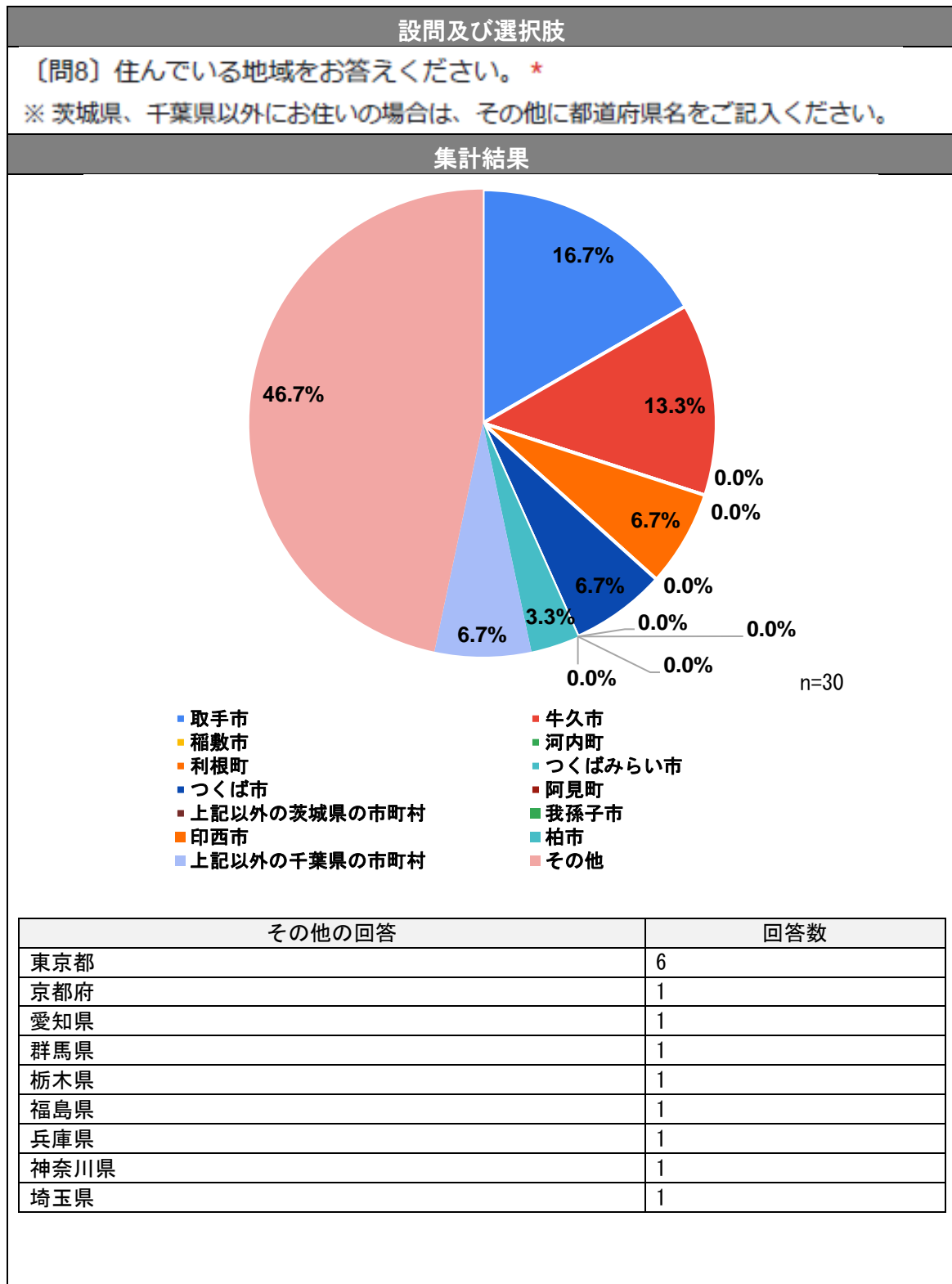
「自家用車（自分で運転）」が 68.6%で最も高く、次いで「鉄道・電車」が 20.6%、「自転車」が 4.7%の順となっている。



(9) 市外居住者対象

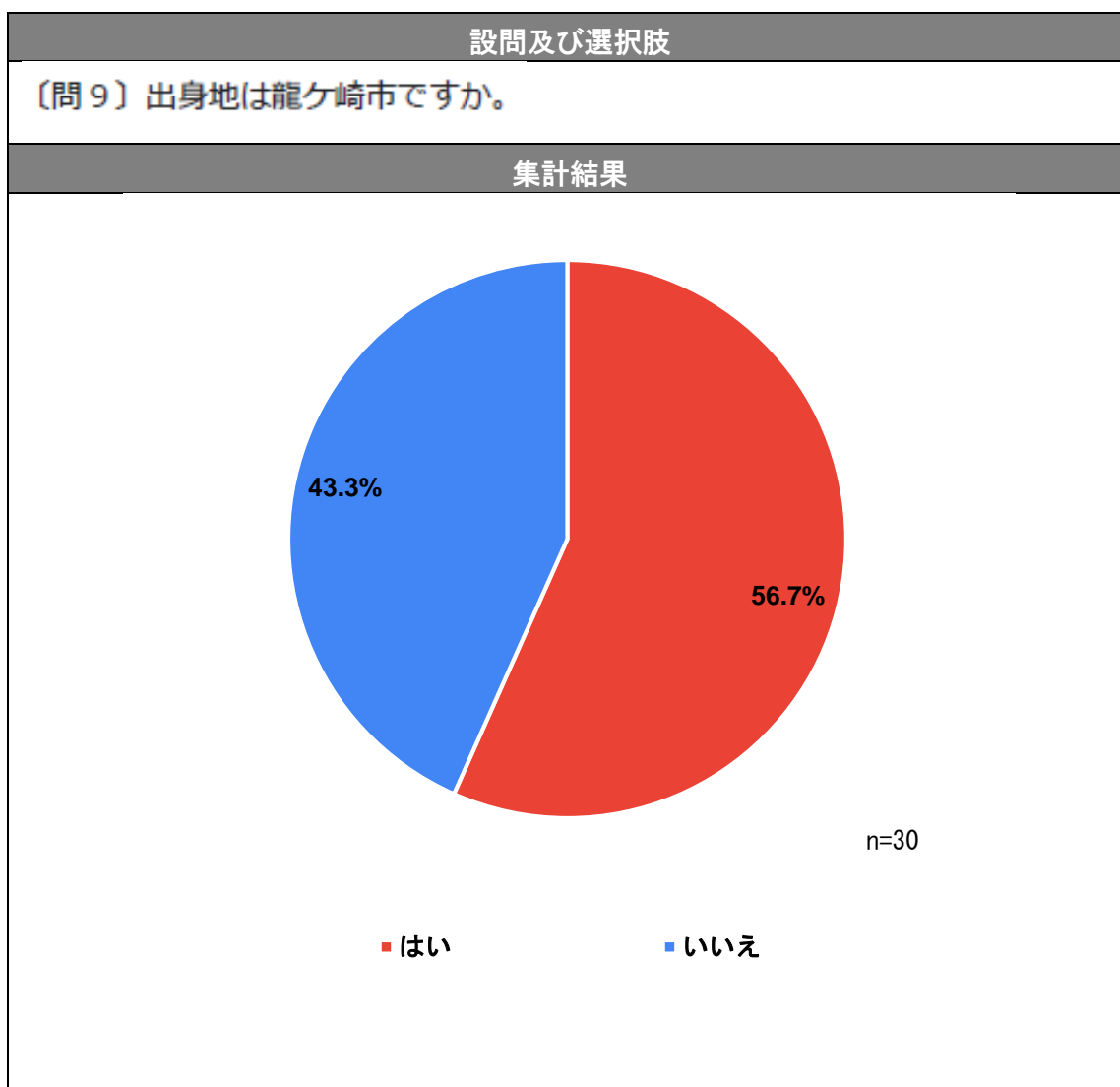
1) 居住地

「その他」が46.7%で最も高く、次いで「取手市」が16.7%、「牛久市」が13.3%の順となっている。



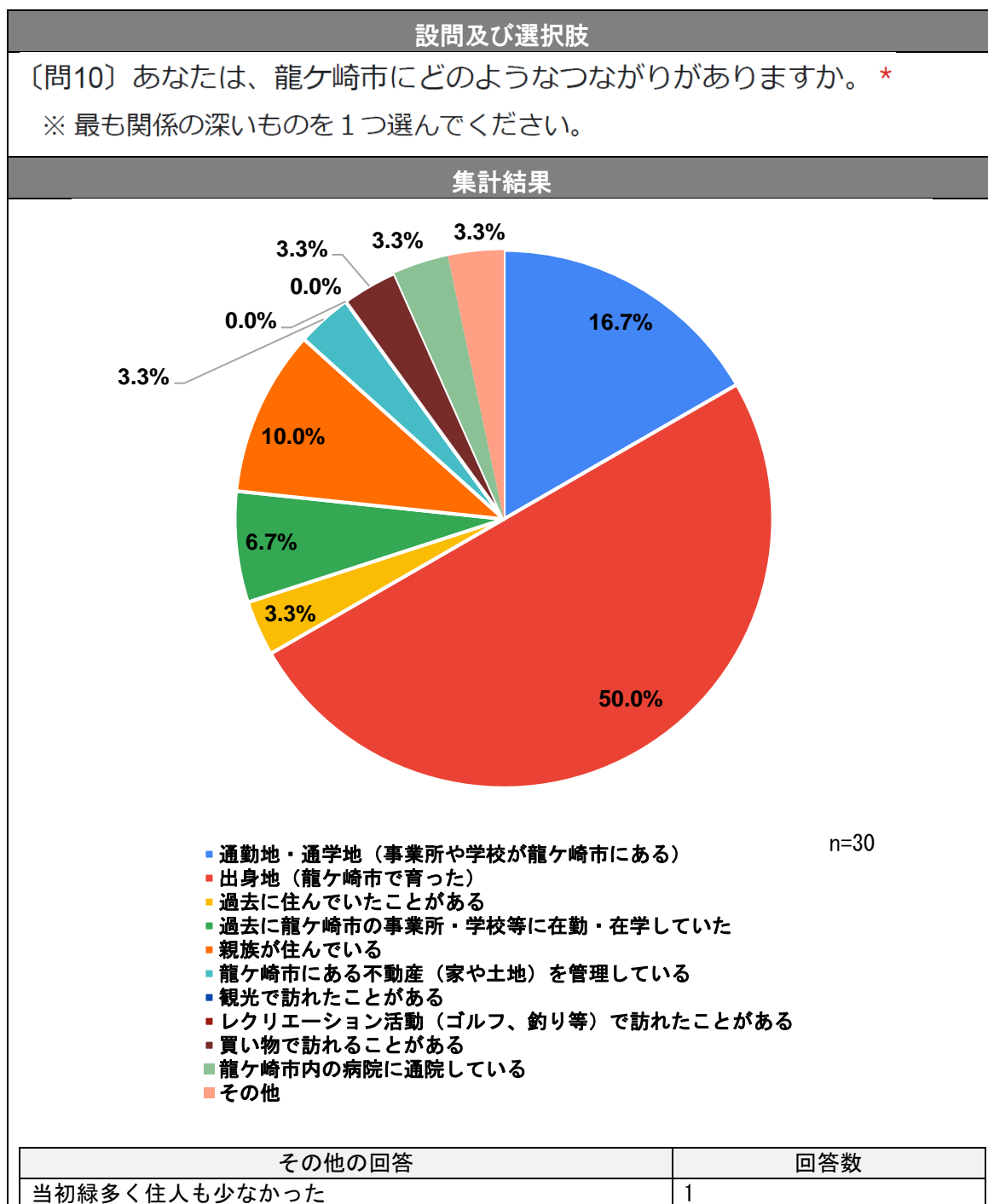
2) 出身地

龍ヶ崎市出身者が 56.7%、龍ヶ崎市出身ではない者が 43.3%となっている。



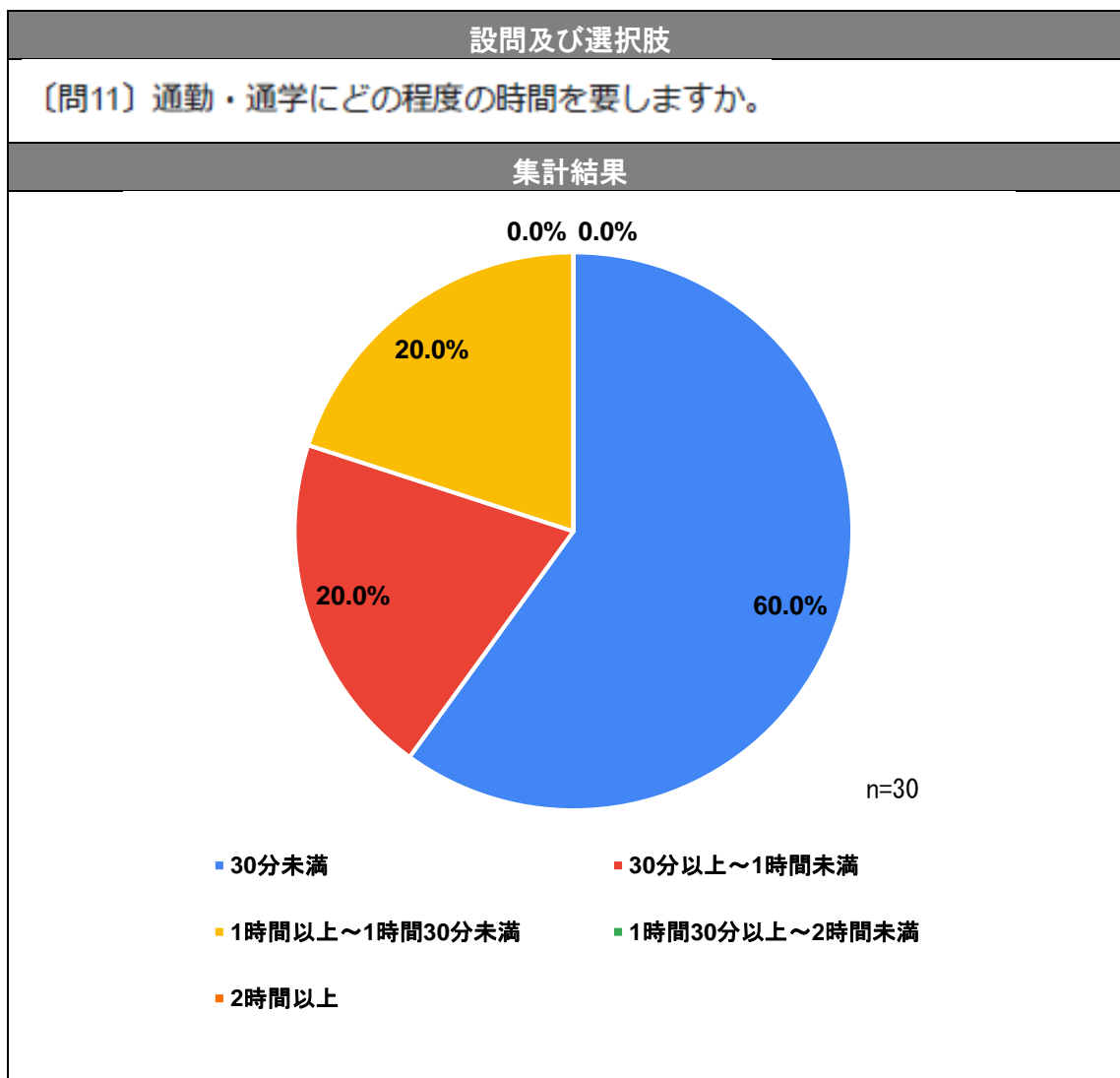
3) 龍ヶ崎市とのつながり

「出身地（龍ヶ崎市で育った）」が 50.0%で最も高く、次いで「通勤地・通学地（事業所や学校が龍ヶ崎市にある）」が 16.7%、「親族が住んでいる」が 10.0%の順となっている。



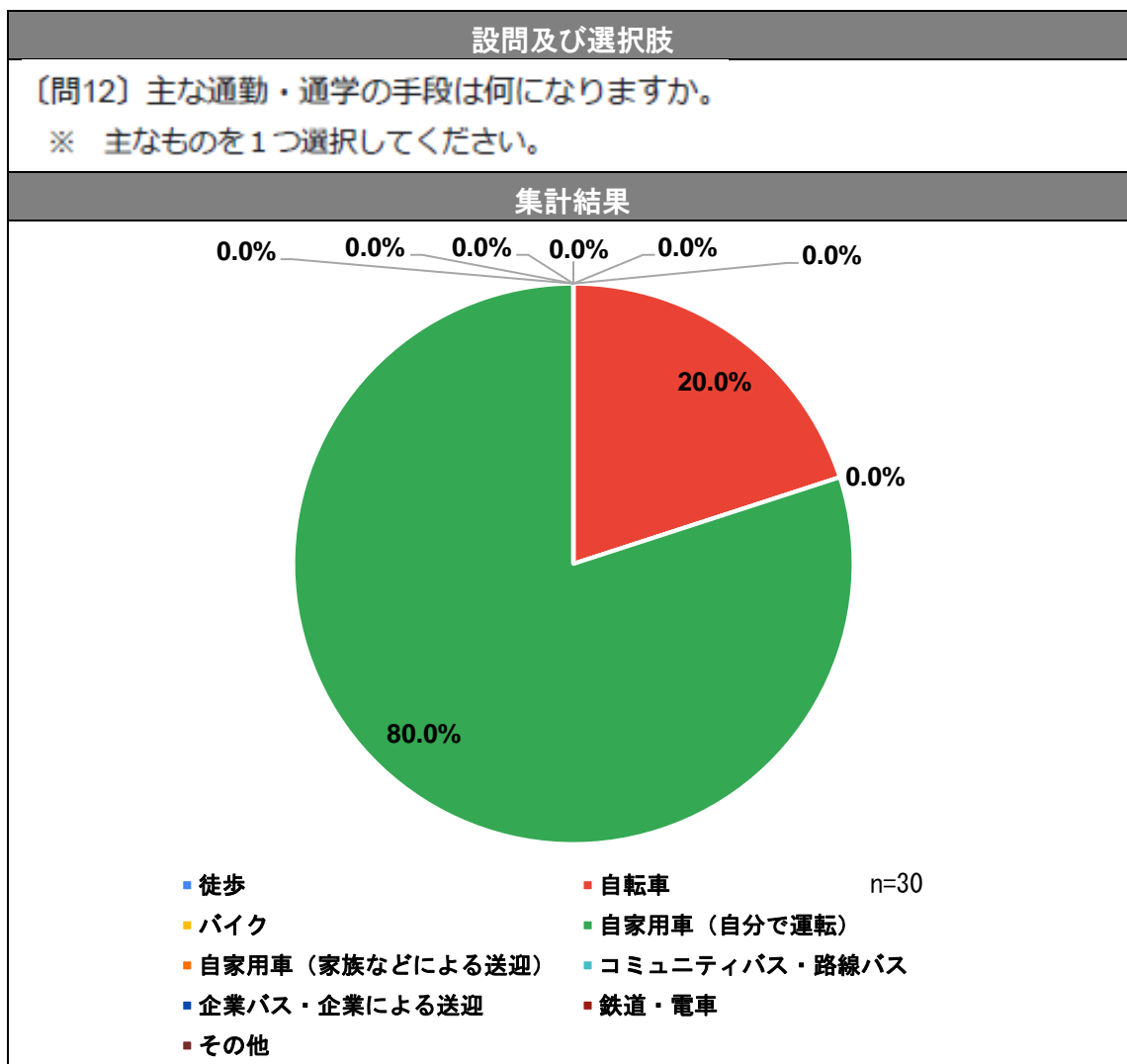
4) 通勤・通学の時間

「30分未満」が60.0%で最も高く、次いで「30分以上～1時間未満」が20.0%、「1時間以上～1時間30分未満」が20.0%の順となっている。



5) 通勤・通学的手段

「自家用車（自分で運転）」が 80.0%で最も高く、次いで「自転車」が 20.0%となっている。



3.2. 定住意識（市内居住者対象）

(1) 現在の暮らしやすさ

「どちらかと言えば暮らしやすい」が 46.1%で最も高く、次いで「暮らしやすい」が 25.8%、「どちらとも言えない」が 16.6%の順となっている。

「暮らしやすい」及び「どちらかと言えば暮らしやすい」が、全体の約 7 割を占めている。

年齢別では、全世代で共通して、6 割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。また、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した方の割合が最も高かったのが「20 歳代」（78.4%）で、最も低かったのが「10 歳代」（63.6%）であった。「10 歳代」は、「暮らしやすい」と回答した方が 0.0%であった。

居住地区別では、全地区で共通して、5 割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した方の割合が最も高かったのが「松葉地区」（82.2%）で、最も低かったのが「長戸地区」（55.5%）であった。一方「暮らしにくい」「どちらかと言えば暮らしにくい」と回答した方の割合が最も高かったのは、「長戸地区」（25.9%）であった。

出身地別では、龍ヶ崎市の出身者とそうでない方の両方で 7 割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答しており、全体的な回答傾向に大きな差は無いが、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した割合は、龍ヶ崎市の出身者は 71.1%、そうでない方は 72.2%とそうでない方が若干高い。

龍ヶ崎市在住年数別では、全ての年数で 5 割以上が「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答している。また、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した方の割合が最も高かったのが「3 年以上～5 年未満」（74.0%）で、最も低かったのが「1 年未満」（50.0%）であった。「暮らしにくい」「どちらかと言えば暮らしにくい」と回答した方の割合が最も高かったのは、「1 年未満」、「わからない、忘れた」（28.6%）であった。

過去の居住地別では、全ての選択肢で「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した方が 6 割を超えている。また、「暮らしやすい」「どちらかと言えば暮らしやすい」と回答した方の割合が最も高かったのが「龍ヶ崎市内の他の場所」（78.9%）で、最も低かったのが「生まれてからずっと今の場所」（61.7%）であった。

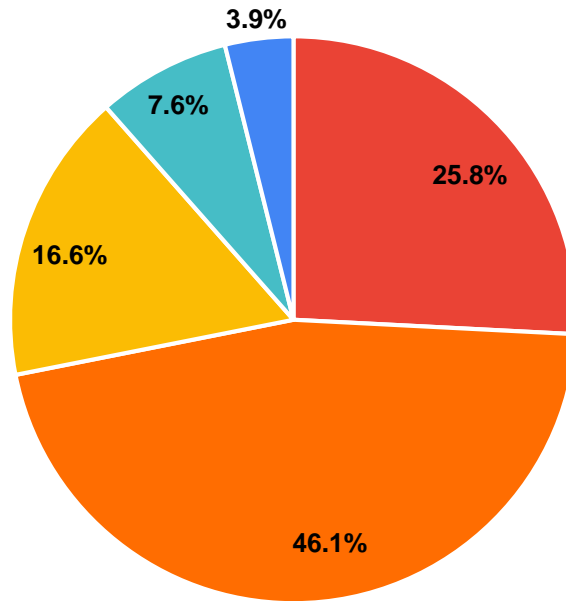
「暮らしにくい」「どちらかと言えば暮らしにくい」と回答した方の割合が最も高かったのも、「生まれてからずっと今の場所」（17.7%）であった。

設問及び選択肢

〔問15〕 現在のお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。

集計結果

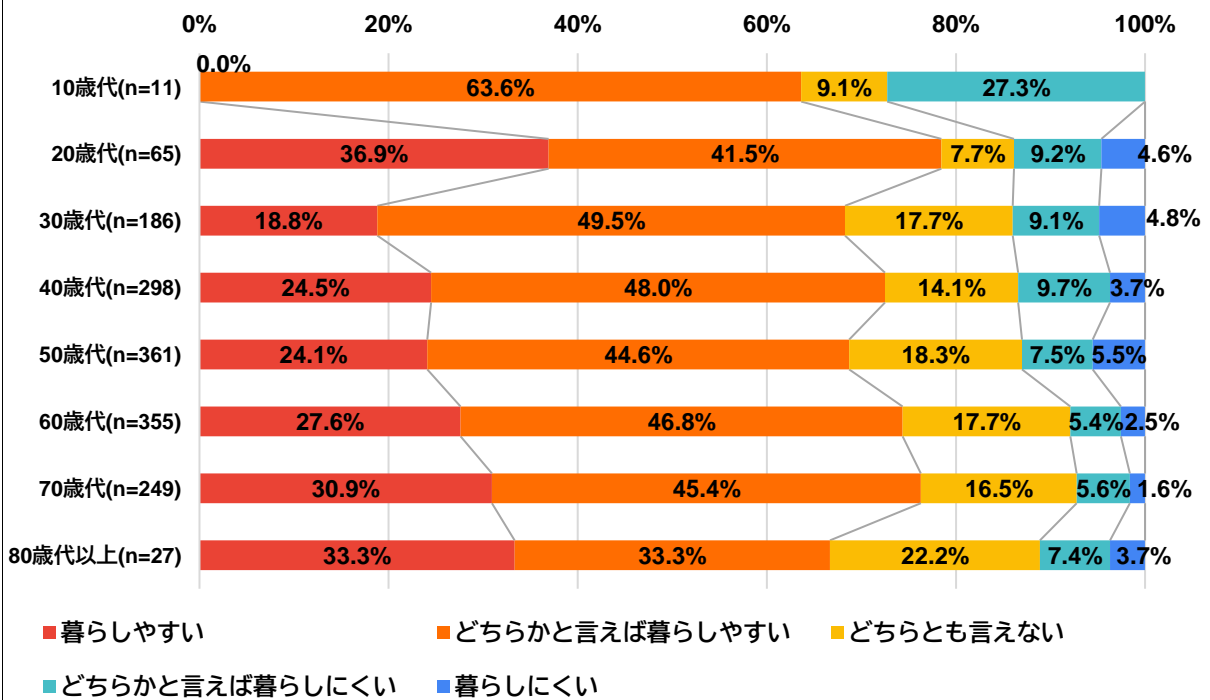
■現在の暮らしやすさ



n=1565

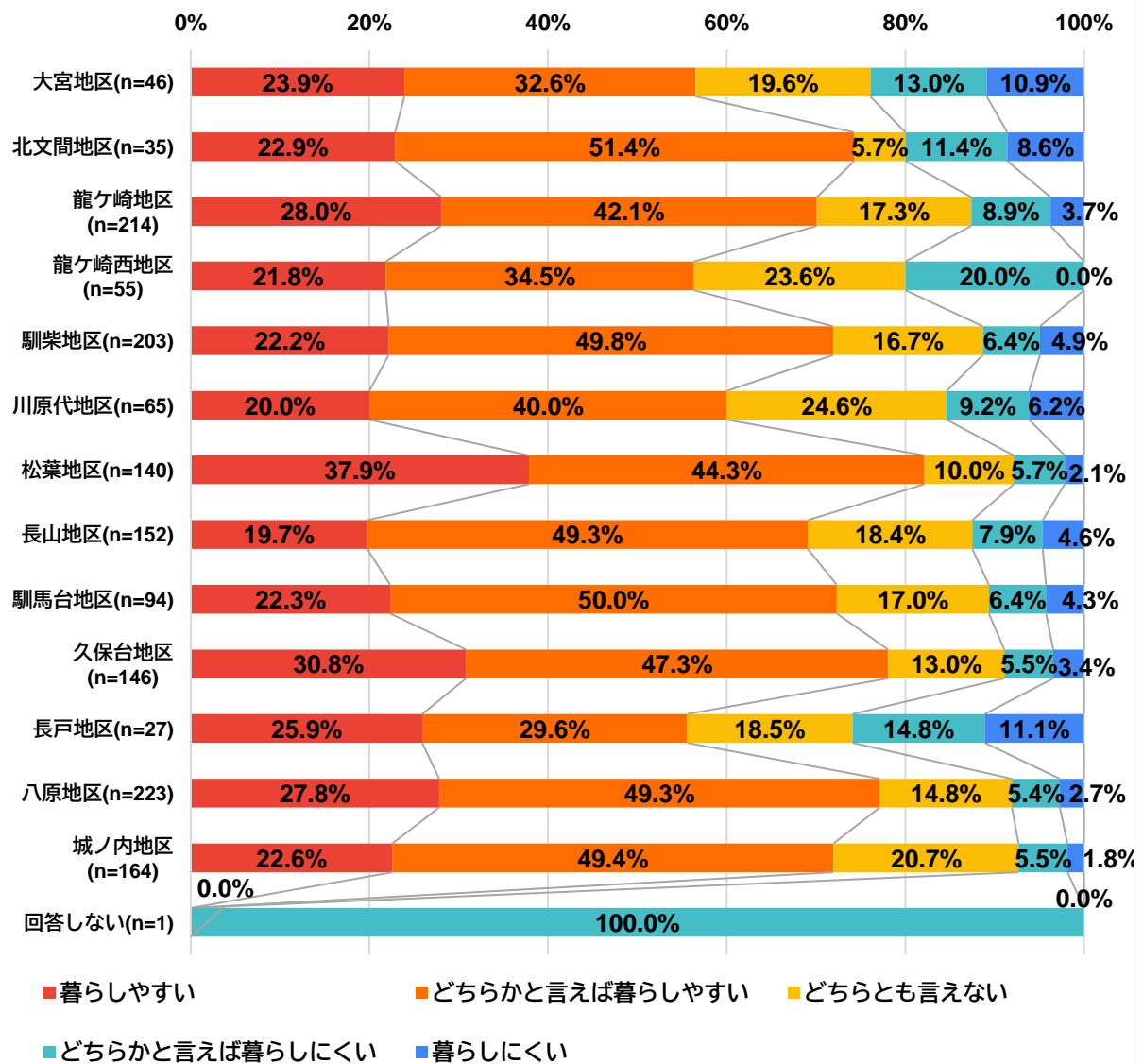
- 暮らしやすい
- どちらかと言えば暮らしやすい
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば暮らしにくい
- 暮らしにくい

■現在の暮らしやすさ（年齢別）

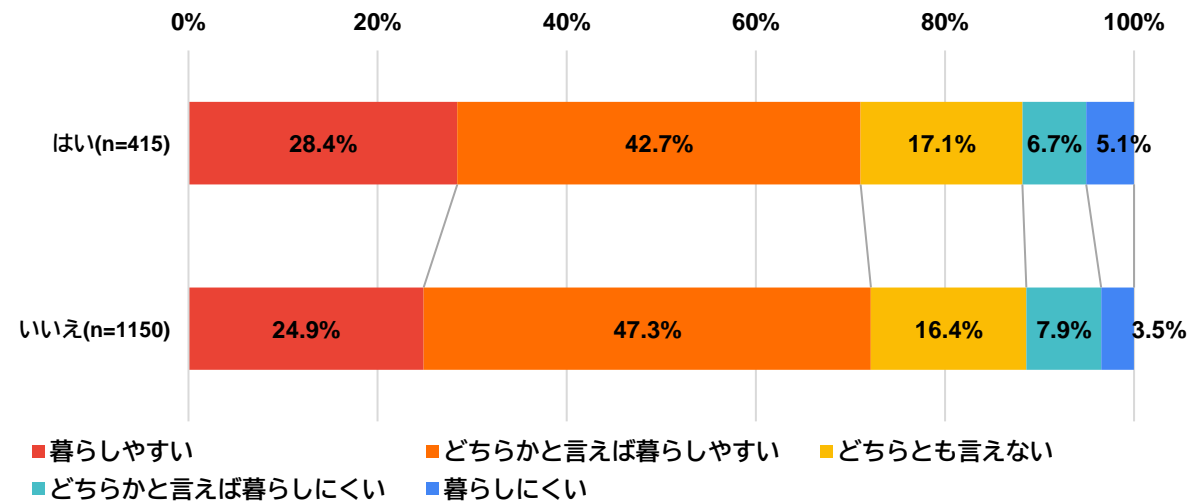


- 暮らしやすい
- どちらかと言えば暮らしやすい
- どちらとも言えない
- どちらかと言えば暮らしにくい
- 暮らしにくい

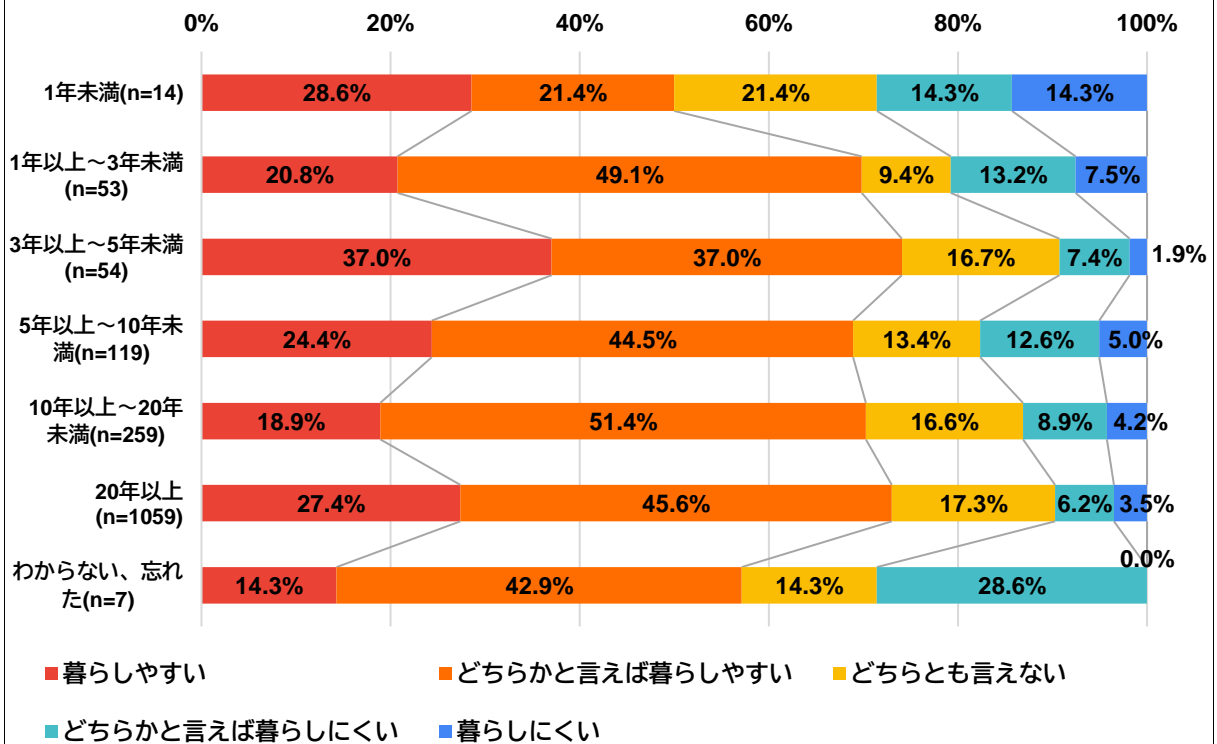
■現在の暮らしやすさ（居住地区別）



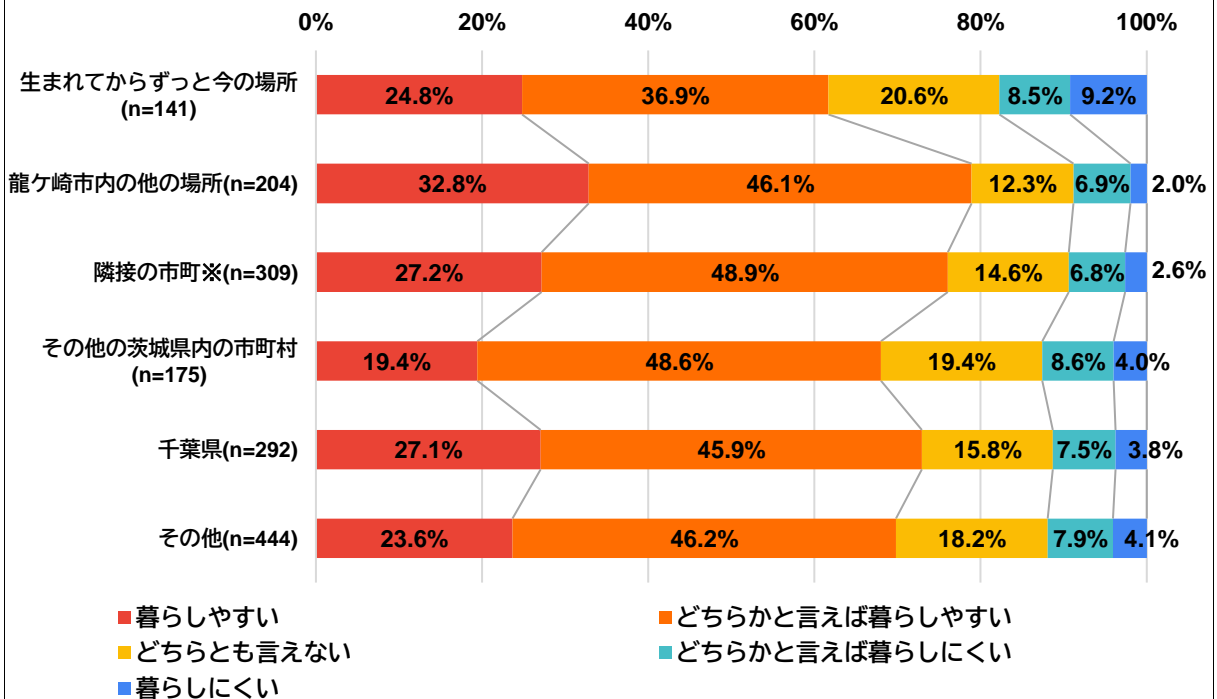
■現在の暮らしやすさ（出身地別）



■現在の暮らしやすさ（龍ヶ崎市在住年数別）



■現在の暮らしやすさ（過去の居住地区別）



※牛久市、稲敷市、河内町、利根町、取手市、つくばみらい市、つくば市

(2) 居住継続意向

「住み続けたい」が 57.0%で最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 26.0%、「市外に移りたい」が 12.3%の順となっている。「住み続けたい」及び「市外の他の場所に移りたい」が、全体の 6 割を占めている。

年齢別では、「住み続けたい」と回答した方が最も多かったのは「70 歳代」(68.3%)で、最も少なかったのは「10 歳代」(27.3%)であった。「10 歳代」は、「市外に移りたい」という回答が 54.5%と全年代で最も多く、次に「20 歳代」(24.6%)が多かったため、若年層で市外に移りたいと考えている方の割合が多いと言える。

居住地区別では、「住み続けたい」の割合が「松葉地区」(67.1%)で最も高く、「八原地区」(62.8%)においても比較的高くなっている。「回答しない」は、「市外に移りたい」が 100.0%となっているが、回答者は 1 名である。「市外に移りたい」と回答した方の割合が最も高かったのは、「北文間地区」(20.0%)であった。

出身地別では、龍ヶ崎市の出身者とそうでない方の両方で 5 割以上が「住み続けたい」と回答している。「住み続けたい」と回答した割合は、龍ヶ崎市の出身者の方が 59.8%、そうでない方が 56.0%と龍ヶ崎市の出身者の方が「住み続けたい」と回答した割合が高い。

龍ヶ崎市在住年数別では、「住み続けたい」という回答した割合が「20 年以上」の方が 59.7%と最も高く、「わからない、忘れた」が 28.6%と最も低く、「市外に移りたい」と回答した方の割合も 28.6%と全選択肢の中で最も多い。それ以外では、「住み続けたい」と回答した方は 5 割前後となっている。

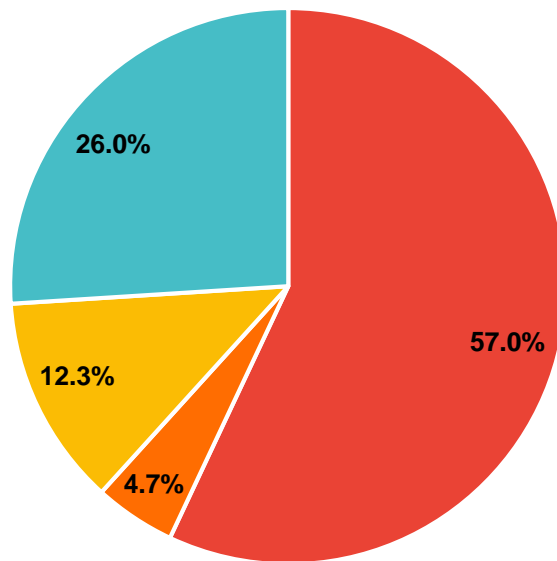
過去の居住地区別だと、「龍ヶ崎市内の他の場所」の方が「住み続けたい」と回答した割合が 62.3%と最も高く、「その他の茨城県内の市町村」の方が「住み続けたい」と回答した割合が 50.9%と最も低かった。「市外に移りたい」と回答した割合が最も高かったのは、「その他の茨城県内の市町村」(16.0%)であった。

設問及び選択肢

【問16】現在の場所に住み続けたいと思いますか。

集計結果

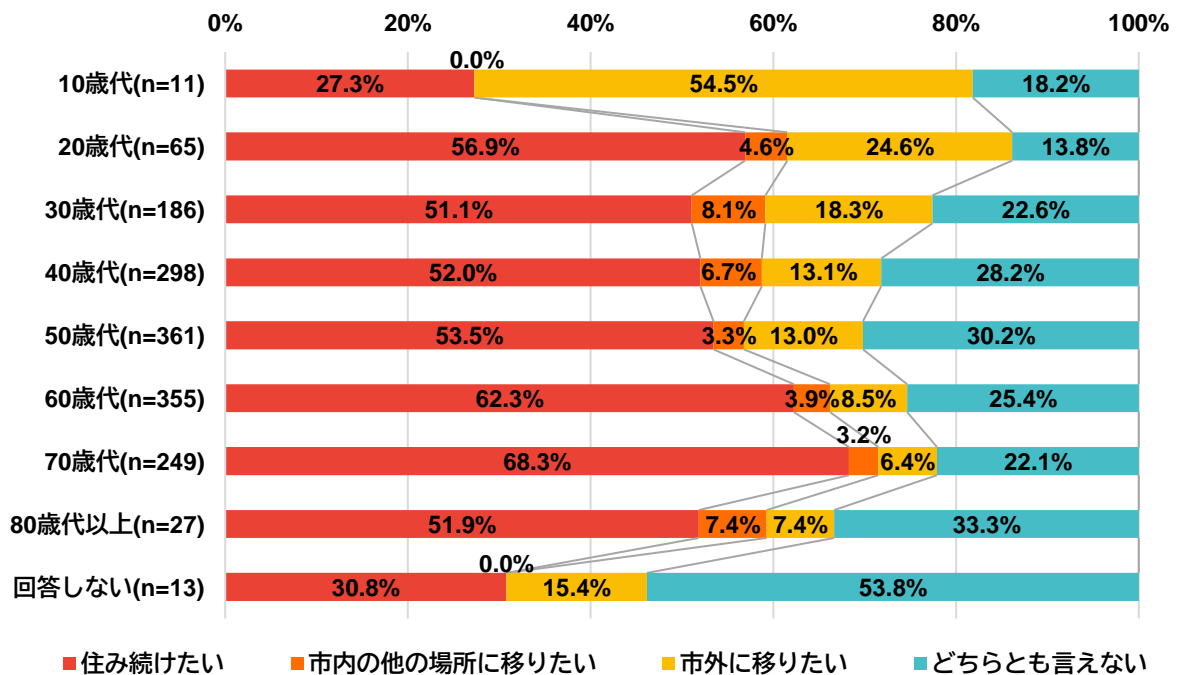
■ 居住継続意向



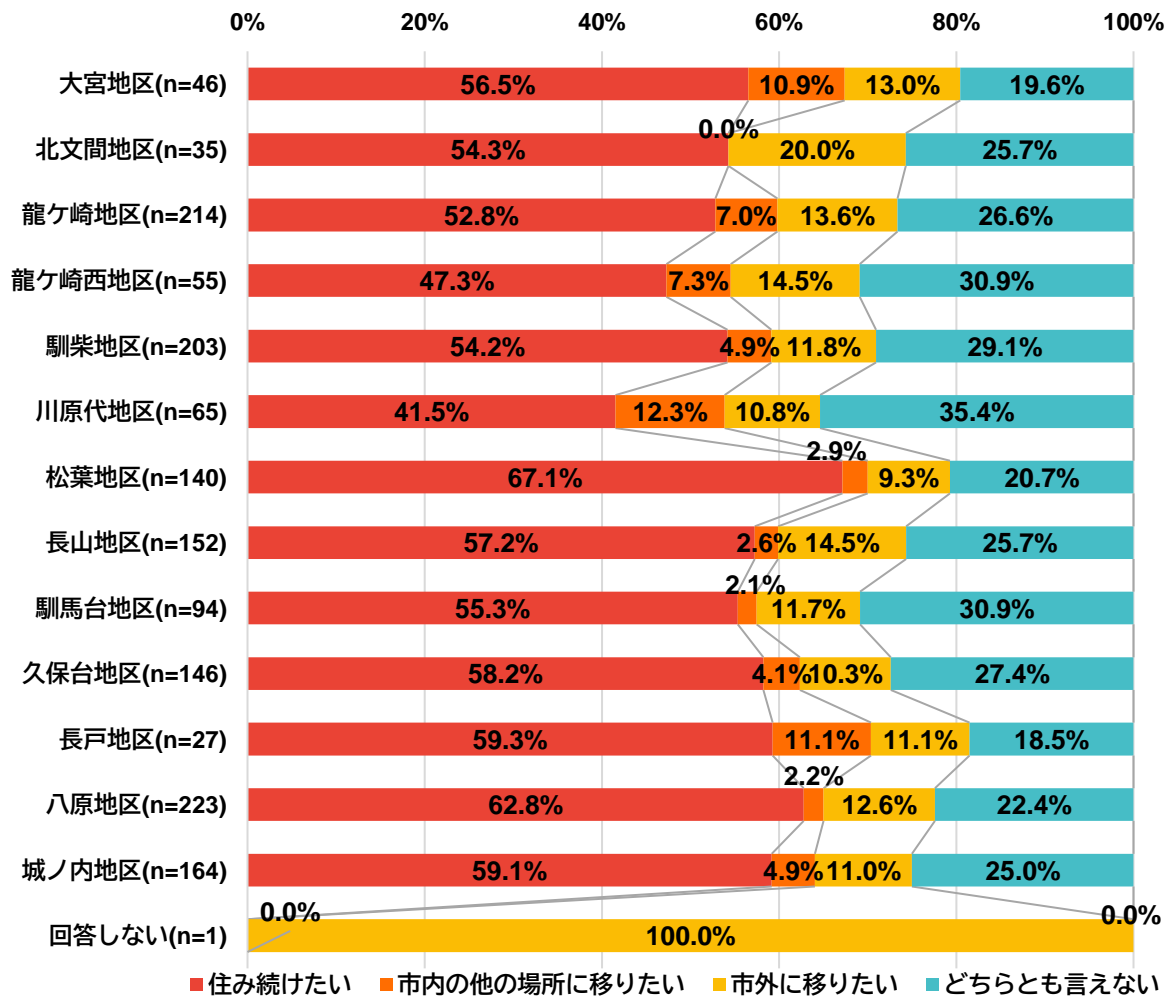
n=1565

- 住み続けたい
- 市内の他の場所に移りたい
- 市外に移りたい
- どちらとも言えない

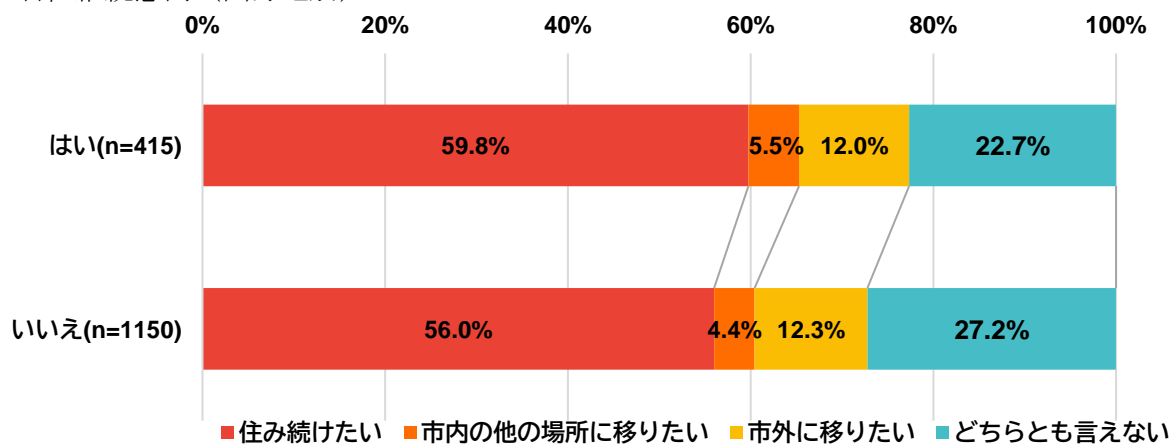
■ 居住継続意向（年齢別）



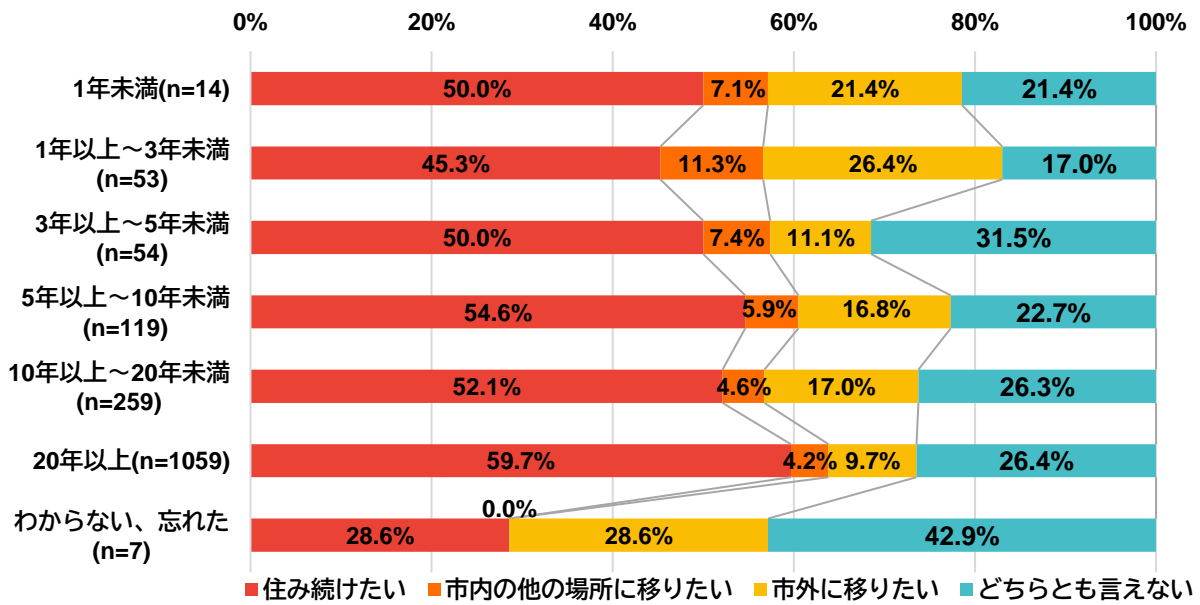
■ 居住継続意向（居住地区別）



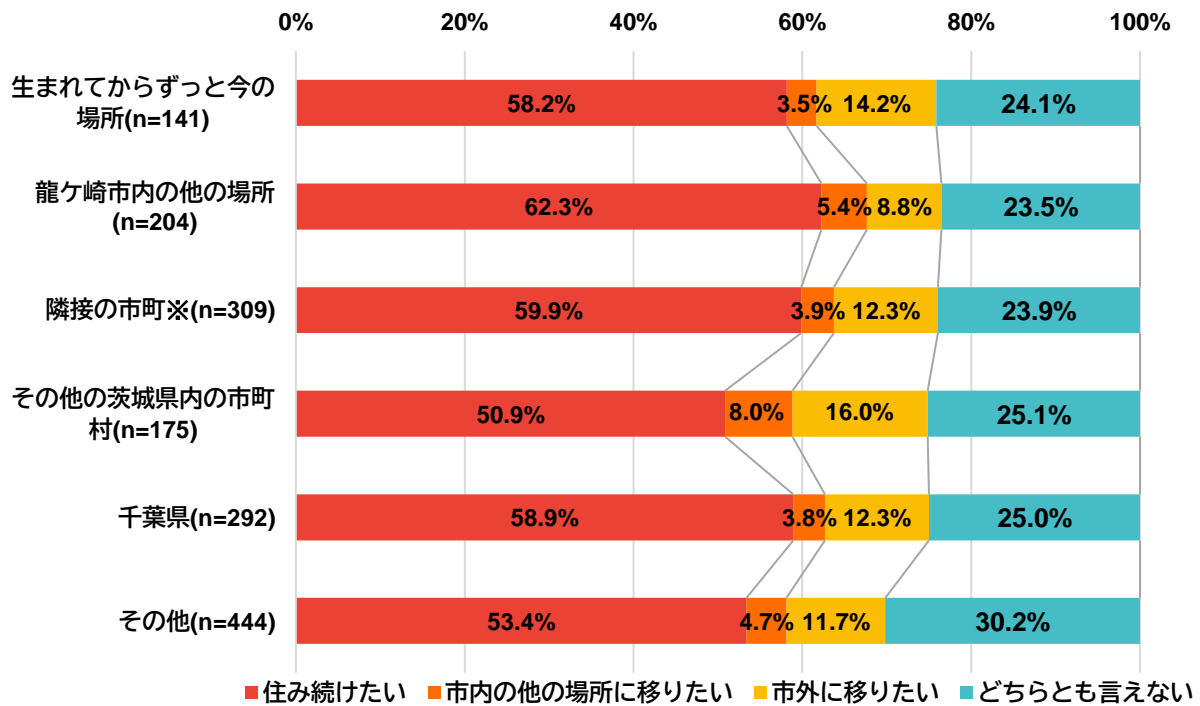
■ 居住継続意向（出身地別）



■ 居住継続意向（龍ヶ崎在住年数別）



■ 居住継続意向（過去の居住地区別）



※牛久市、稲敷市、河内町、利根町、取手市、つくばみらい市、つくば市

3.3. 生活環境（市内居住者対象）

(1) 生活環境の満足度

「満足」（5点）、「やや満足」（4点）、「普通」（3点）、「やや不満」（2点）、「不満」（1点）とした場合の平均値を算出した。

全般的に満足度の平均値は「普通」（3点）前後の評価となっている。

最も満足度の平均値が高いのは「自然の豊かさや美しさ」（3.60）で、次いで「生鮮食料品など最寄品（注1）の買い物のしやすさ」（3.39）、「下水道や生活排水施設の整備」（3.35）となっている。

「満足」と答えた割合については、「下水道や生活排水施設の整備」（16.8%）が最も多く、次いで「自然の豊かさや美しさ」（16.6%）、「生鮮食料品など最寄品（注1）の買い物のしやすさ」（15.7%）の順となっている。

「不満」と答えた割合については、「鉄道やバスなどの公共交通の利便性」（14.9%）が最も多く、「働く場所の多さ」（10.8%）、「大規模商業施設や買回品（注2）店舗の充実度」（9.7%）の順になっている。

設問及び選択肢

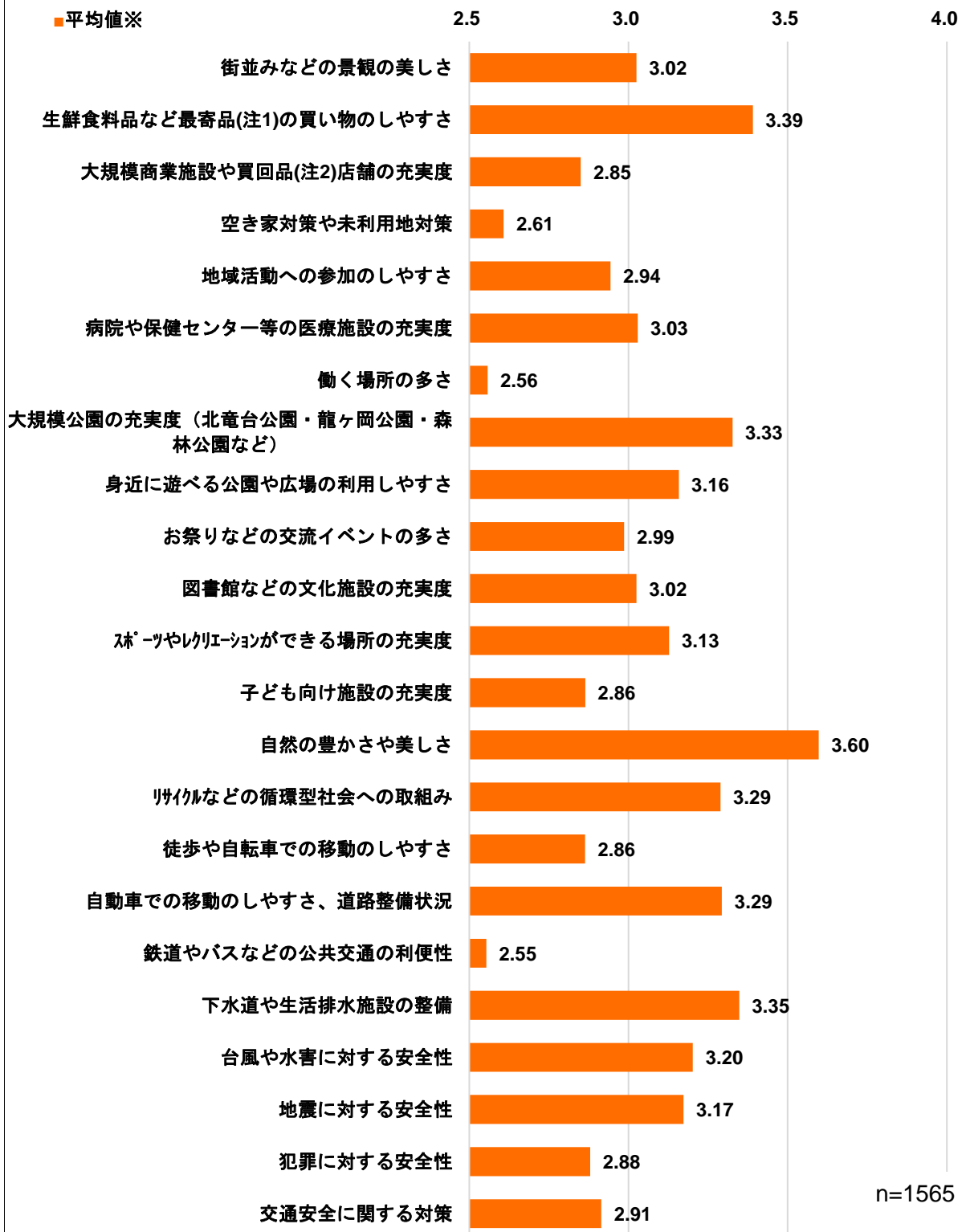
〔問17〕 お住まいの地域の生活環境に関する満足度をお答えください。下記*の項目について、あなたの考えに1番近いものをそれぞれ1つお選びください。

注1 最寄品…習慣的に購入するもの。食料品や日用雑貨品などの購入頻度が高く、比較的安価なもの。

注2 買回品…比較検討して探し回るような製品。購入頻度が低く、比較的高価なもの。

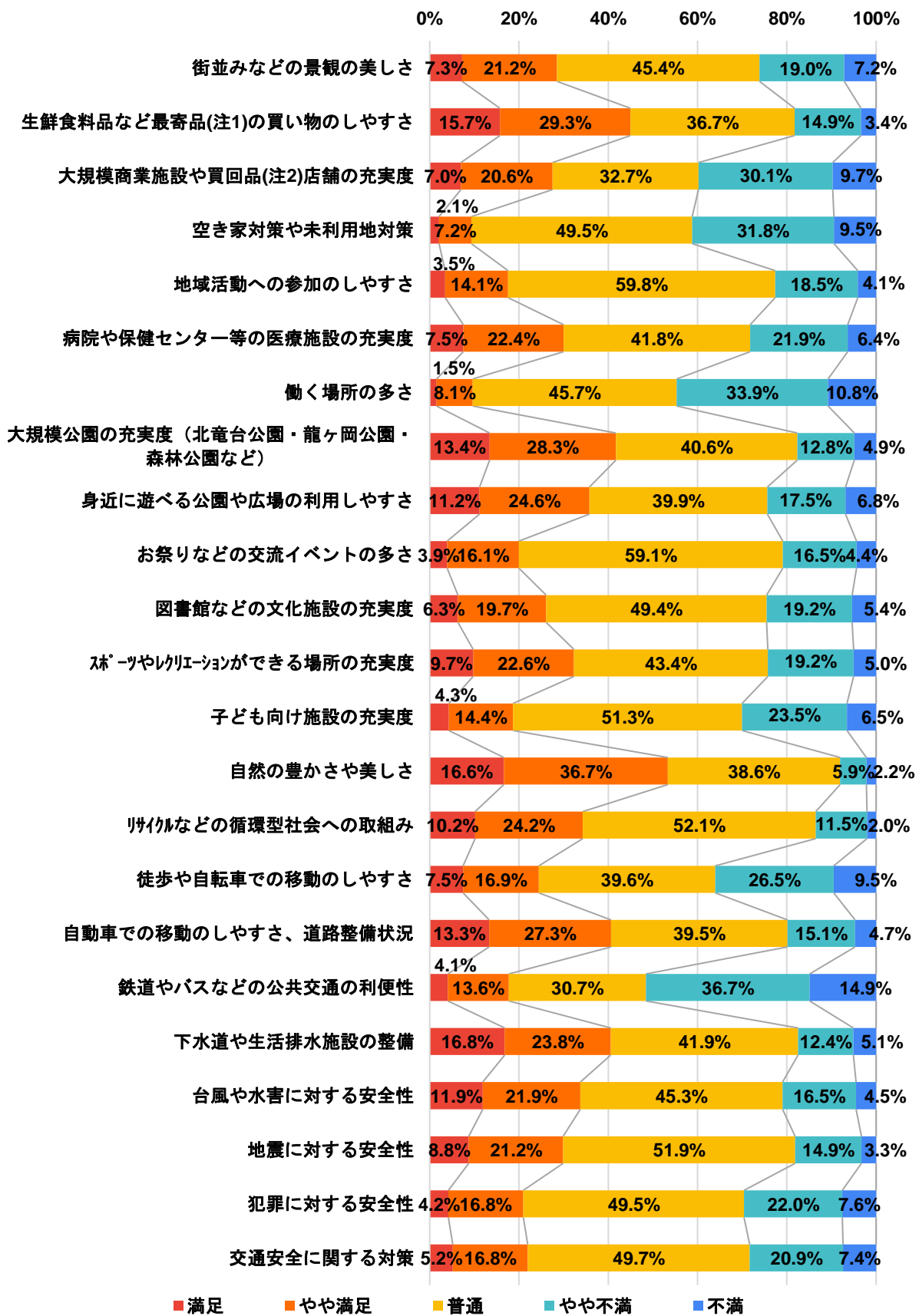
集計結果

■生活環境の満足度（平均値）



※平均値：「満足」（5点）、「やや満足」（4点）、「普通」（3点）、「やや不満」（2点）、「不満」（1点）とした場合の平均値を算出

■生活環境の満足度（全体集計）



n=1565

3.4. 魅力や課題

(1) 龍ヶ崎市のイメージ

「東京都への通勤圏である、都心のベッドタウン」(730票)が最も多く、次いで「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」(635票)、「自然環境と社会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち」(322票)の順となっている。

年齢別では、全世代で「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」の回答が最も多かったが、「60歳代」は、「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」が156票、「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」が155票と「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」が最も多かった。

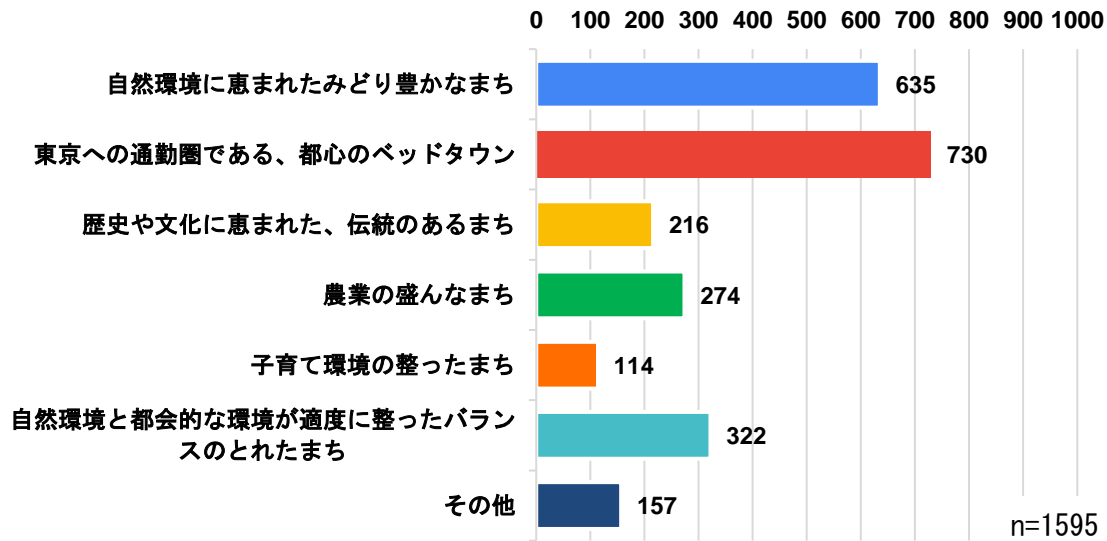
居住地別では、「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」の回答が市内(714票)、市外(16票)ともに最も多かった。

居住地区別では、「大宮地区」が19票で「農業の盛んなまち」が最も多く、「北文間地区」(20票)、「八原地区」(96票)、「長戸地区」(15票)では、「自然環境に恵まれたみどり豊かなまち」が最も多かった。その他の地区では、「東京への通勤圏である、都心のベッドタウン」が各地区第一位であった。

設問及び選択肢
〔問18〕 龍ヶ崎市にどのようなイメージを持っていますか。 ※ 2つ以内で選択してください。

集計結果

■イメージ



その他の回答（抜粋）

スポーツ振興都市
行政機関が多く企業には便利なところ
高校大学があり関係人口が多いまち
衣食住の物価が安く、住みやすそうなまち
静かな環境地
道路整備された綺麗な町
物価が安く、自然災害などもあまりなく、そういう点で住みやすい所だと感じている。
何事も車が無いと不便
交通インフラ(鉄道と高速・国道)に背を向けた発展性に乏しい街
側道の緑地が雑草や木が伸び放題で草刈りの整備が行き届いていない町
治安があまりよくない
高齢化が進んでいる。龍ヶ崎市駅周辺から運動施設や文化施設が遠い
龍ヶ崎市駅周辺がまるで進歩していない
特になし

■イメージ（年齢別）

	自然環境に恵まれたみどり豊かなまち	東京への通勤圏である、都心のベッドタウン	歴史や文化に恵まれた、伝統のあるまち	農業の盛んなまち	子育て環境の整ったまち	自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち	その他（自由記述）
10歳代(n=11)	5	3	3	0	1	3	0
20歳代(n=65)	19	23	11	4	15	22	6
30歳代(n=186)	53	74	22	26	28	50	18
40歳代(n=298)	114	127	33	46	26	57	36
50歳代(n=361)	145	162	50	68	24	75	43
60歳代(n=355)	156	155	48	70	12	67	30
70歳代(n=249)	120	147	36	50	6	39	12
80歳代以上(n=27)	10	20	3	2	2	5	1
回答しない(n=13)	3	3	2	1	0	1	6

※各年代の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■イメージ（居住地別）

	自然環境に恵まれたみどり豊かなまち	東京への通勤圏である、都心のベッドタウン	歴史や文化に恵まれた、伝統のあるまち	農業の盛んなまち	子育て環境の整ったまち	自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち	その他（自由記述）
龍ヶ崎市内(n=1565)	625	714	208	267	114	319	152
龍ヶ崎市外(n=30)	10	16	8	7	0	3	5

※各居住地の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■イメージ（居住地区別）

	自然環境に恵まれたみどり豊かなまち	東京への通勤圏である、都心のベッドタウン	歴史や文化に恵まれた、伝統のあるまち	農業の盛んなまち	子育て環境の整ったまち	自然環境と都会的な環境が適度に整ったバランスのとれたまち	その他（自由記述）
大宮地区 (n=46)	17	14	7	19	1	3	5
北文間地区 (n=35)	20	10	7	8	0	5	5
龍ヶ崎地区 (n=214)	86	87	37	35	19	32	24
龍ヶ崎西地区 (n=55)	21	22	13	9	3	4	7
馴染地区 (n=203)	70	99	24	37	13	45	24
川原代地区 (n=65)	31	34	9	9	2	6	8
松葉地区 (n=140)	58	76	11	19	9	41	5
長山地区 (n=152)	64	88	18	18	8	28	15
馴染馬台地区 (n=94)	35	50	17	16	5	23	6
久保台地区 (n=146)	59	76	12	24	4	31	16
長戸地区 (n=27)	15	9	3	12	1	4	3
八原地区 (n=223)	96	86	33	34	29	47	20
城内地区 (n=164)	53	63	17	27	20	50	13
回答しない (n=1)	0	0	0	0	0	0	1

※各地区の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

(2) 龍ヶ崎市の魅力

「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」が 666 票で最も多く、次いで「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」(547 票)、「北竜台公園や龍ヶ丘公園などの大規模な公園が整備されている」(392 票)の順となっている。

年齢別では、「10 歳代」は、「通勤・通学に便利である」(4 票)が最も多く、「20 歳代」は「買い物環境が整っている」(18 票)、「30 歳代」は、「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」(58 票)が最も多かった。「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」は、「40 歳代」(136 票)、「50 歳代」(170 票)、「60 歳代」(167 票)で最も割合が多くなっている。「70 歳代」、「80 歳代」は牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」が最も多く、それぞれ 96 票と 11 票であった。

居住地別では、「龍ヶ崎市内」は「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」が 665 票と最も多かったが、「龍ヶ崎市外」では、「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」が 15 票と最も多くなっている。

居住地区別では、「馴染地区」、「松葉地区」、「長山地区」では、「牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている」がそれぞれ 90 票、58 票、53 票で最も多く、「八原地区」では、「陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている」が 95 票と最も多かった。その他の地区では、「のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある」が各地区第一位であった。

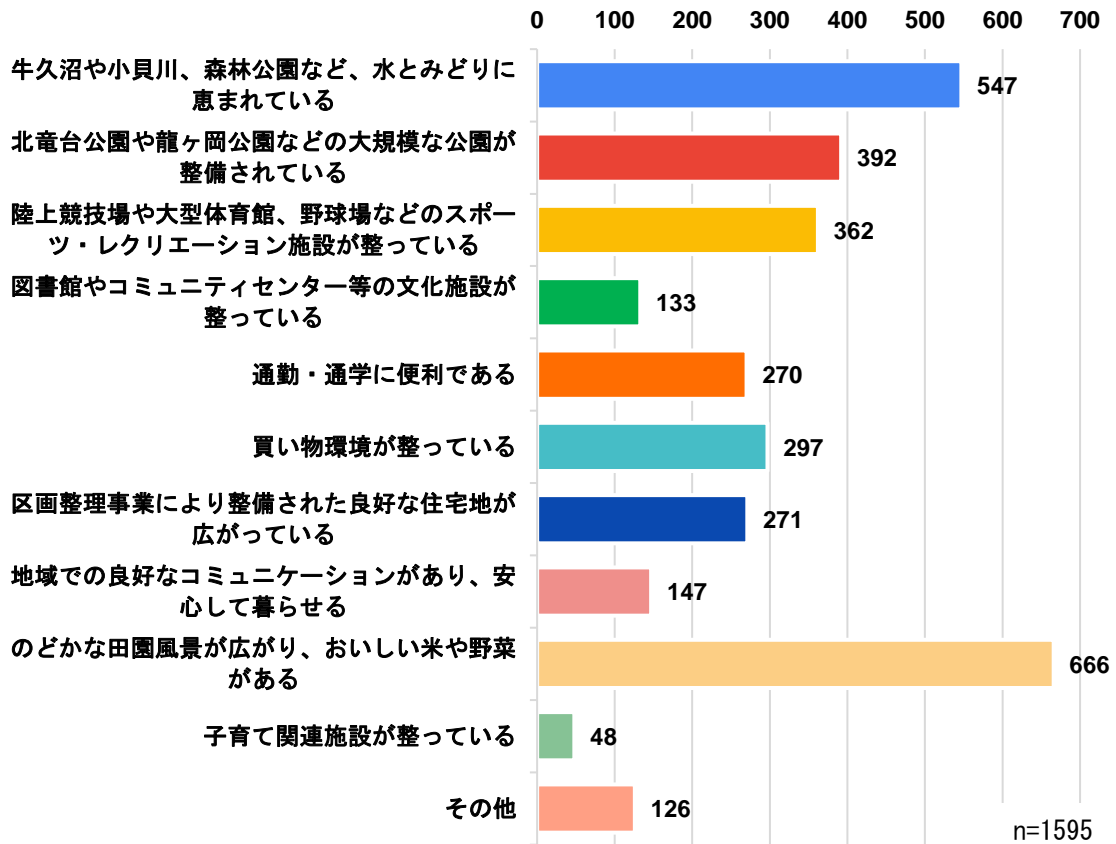
設問及び選択肢

【問19】あなたにとって、龍ヶ崎市の魅力は何だと思えますか。

※ 3つ以内で選択してください。

集計結果

■魅力



その他の回答（抜粋）

点在する自然林と住宅地のバランスが取れた日本のコッツウォルズ
6号に出るのが楽
贅沢しなければ近場で大体揃う
東京や、龍ヶ崎市周辺の大規模商業施設へのアクセスが良い
学校（龍ヶ崎一高）、都内からのアクセス、土地の価格
煩わしさが無くのんびりしている
適度に田舎で適度に都心から離れている
家賃が安い
自然が多い
ニュータウンは歩道が多く環境が整い安全な場所
特になし

■魅力（年齢別）

	水とみどりに恵まれている	牛久沼や小貝川、森林公園など、大規模な公園が整備されている	北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている	陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている	図書館やコミュニティセンター等の文化施設が整っている	通勤・通学に便利である	買い物環境が整っている	良好な住宅地が広がっている	区画整理事業により整備された	地域での良好なコミュニケーションがあり、安心して暮らせる	のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある	子育て関連施設が整っている	その他（自由記述）
10歳代 (n=11)	3	2	3	0	4	3	0	1	3	1	0		
20歳代 (n=65)	13	17	16	5	13	18	7	5	17	6	7		
30歳代 (n=186)	58	56	42	17	43	39	20	5	55	11	23		
40歳代 (n=298)	83	60	94	19	56	59	36	21	136	10	24		
50歳代 (n=361)	134	75	71	14	61	65	54	27	170	9	35		
60歳代 (n=355)	130	89	70	25	41	53	78	38	167	8	20		
70歳代 (n=249)	96	73	52	45	38	48	69	43	95	1	10		
80歳代 以上 (n=27)	11	9	3	5	6	4	5	4	9	1	1		
回答しない (n=13)	4	1	1	0	2	3	0	0	3	0	3		

※各年代の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■魅力（居住地別）

	牛久沼や小貝川、森林公園など、水とみどりに恵まれている	北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている	陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている	図書館やコミュニティセンター等の文化施設が整っている	通勤・通学に便利である	買い物環境が整っている	区画整理事業により整備された良好な住宅地が広がっている	暮らせる 地域での良好なコミュニケーションがあり、安心して暮らせる	のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある	子育て関連施設が整っている	その他（自由記述）
龍ヶ崎市内 (n=1565)	532	382	352	130	264	292	269	144	655	47	123
龍ヶ崎市外 (n=30)	15	10	10	3	6	5	2	3	11	1	3

※各居住地の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■魅力（居住地区別）

	みどり 牛久沼や小貝川、森林公園など、水と恵まれている	北竜台公園や龍ヶ岡公園などの大規模な公園が整備されている	陸上競技場や大型体育館、野球場などのスポーツ・レクリエーション施設が整っている	図書館やコミュニティセンター等の文化施設が整っている	通勤・通学に便利である	買い物環境が整っている	住宅地が広がっている	区画整理事業により整備された良好な地域での良好なコミュニケーションがあり、安心して暮らせる	のどかな田園風景が広がり、おいしい米や野菜がある	子育て関連施設が整っている	その他（自由記述）
大宮地区 (n=46)	14	6	10	3	3	5	0	3	36	0	2
北文間地区 (n=35)	13	3	3	5	3	4	2	4	21	1	5
龍ヶ崎地区 (n=214)	65	37	46	20	37	48	11	19	93	7	18
龍ヶ崎西地区 (n=55)	16	8	10	7	8	13	4	3	28	1	8
馴染地区 (n=203)	90	25	26	11	67	30	16	17	82	7	26
川原代地区 (n=65)	35	2	16	8	16	10	3	6	37	4	4
松葉地区 (n=140)	58	49	15	12	22	16	49	22	47	1	11
長山地区 (n=152)	53	51	23	19	25	16	39	23	53	1	7
馴染馬台地区 (n=94)	31	28	18	14	18	13	23	5	35	1	7
久保台地区 (n=146)	49	33	27	9	18	35	44	18	55	1	7
長戸地区 (n=27)	9	5	8	3	2	4	2	6	17	0	2
八原地区 (n=223)	62	77	95	8	19	66	44	13	86	14	11
城ノ内地区 (n=164)	37	58	55	11	26	32	32	5	65	9	14
回答しない (n=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

※各地区の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

(3) まちづくり、土地利用の課題

「駅周辺に賑わいがない」が 1105 票で最も多く、次いで「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」(797 票)、「店舗やサービス施設が不足している」(584 票)の順となっている。

年齢別では、全年代で「駅周辺に賑わいがない」が第一位であったが、「80 歳代」では、「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」(17 票)も同率一位となった。

居住地別では、「龍ヶ崎市内」、「龍ヶ崎市外」とともに「駅周辺に賑わいがない」が、それぞれ 1084 票と 20 票で最も多くなっている。

居住地区別では、「大宮地区」、「龍ヶ崎西地区」、「長戸地区」以外の地区では「駅周辺に賑わいがない」が最も多くなった。「大宮地区」、「龍ヶ崎西地区」、「長戸地区」では、「管理されていない空き家、空き店舗が増えている」がそれぞれ 28 票、40 票、16 票で最も多くなった。

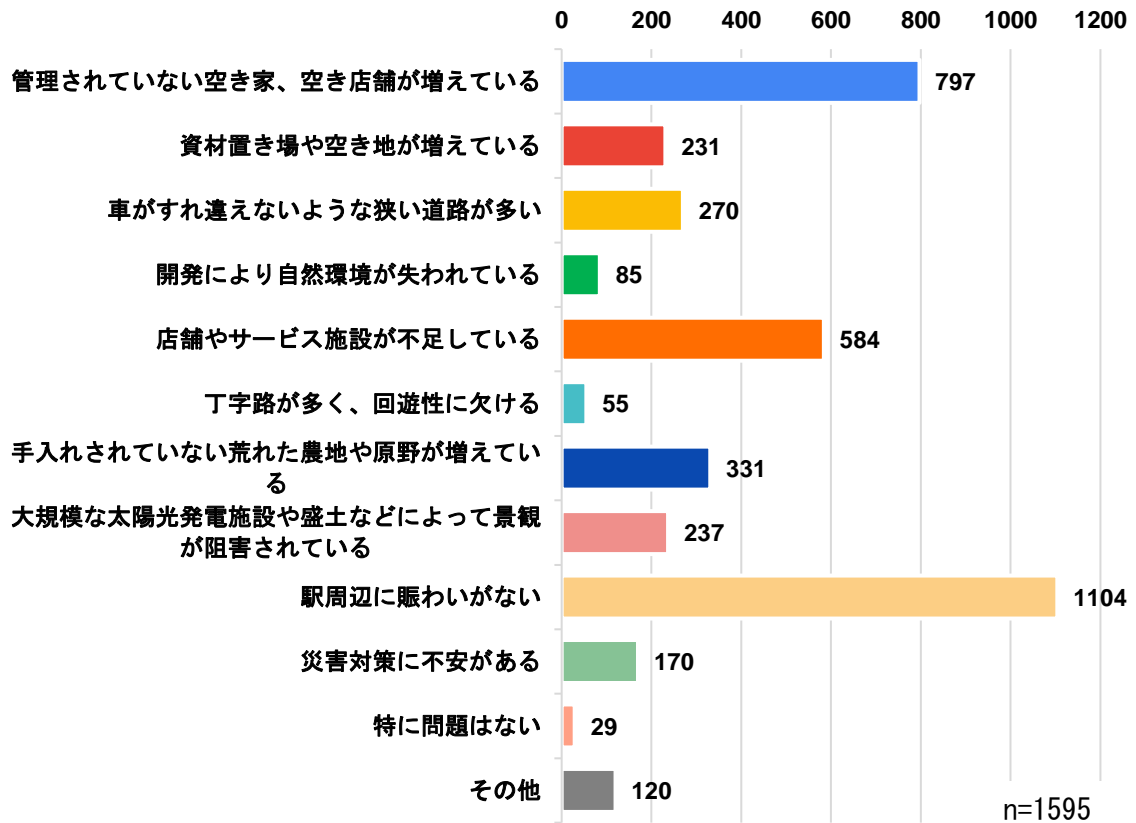
設問及び選択肢

〔問20〕あなたにとって、龍ヶ崎市の土地利用にはどのような課題があると思いますか。

※3つ以内で選択してください。

集計結果

■土地利用



その他の回答（抜粋）

強みである農業を活かしていこうとするビジョンがない
過剰な(管理費に見合わない)施設が多い
歩行者や自転車にやさしくない
道路の雑草の除外（事故につながるほどの手入れ不足）
龍ヶ崎市駅周辺の商業施設が無さすぎる。市の入り口が寂しすぎる。取手、牛久、ひたちの牛久と比べてあまりにも寂しすぎる。
観光地（牛久沼湖畔の植樹など）
企業誘地場所が無い
サッカー場のまわりに運動器具が欲しい、運動する人が増えることでコミュニティの場にしたり防犯対策になる。
牛久沼という観光資源を有効活用できていない
下水設備など整っていない

■土地利用（年齢別）

	管理されていない空き家、空き店舗が増えている	資材置き場や空き地が増えている	車がすれ違えないような狭い道路が多い	開発により自然環境が失われている	店舗やサービス施設が不足している	丁字路が多く、回遊性に欠ける	手入れされていない荒れた農地や原野が増えている	大規模な太陽光発電施設や盛土などによって景観が阻害されている	駅周辺に賑わいが無い	災害対策に不安がある	特に問題はない	その他（自由記述）
10歳代 (n=11)	3	1	3	2	4	0	3	0	8	2	0	0
20歳代 (n=65)	25	5	17	2	25	4	15	3	41	9	2	9
30歳代 (n=186)	77	28	38	5	63	9	30	16	116	21	6	14
40歳代 (n=298)	153	39	57	18	115	8	54	38	212	37	5	25
50歳代 (n=361)	174	44	64	24	137	17	71	59	254	36	3	33
60歳代 (n=355)	185	58	62	18	124	12	78	54	240	34	12	18
70歳代 (n=249)	138	41	22	9	93	4	63	57	191	24	0	10
80歳代以上 (n=27)	17	9	0	1	11	1	9	5	17	1	0	3
回答しない (n=13)	8	1	4	0	2	0	3	1	6	3	0	4

※各年代の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■土地利用（居住地別）

	管理されていない空き家、空き店舗が増えている	資材置き場や空き地が増えている	車がすれ違えないような狭い道路が多い	開発により自然環境が失われている	店舗やサービス施設が不足している	丁字路が多く、回遊性に欠ける	手入れされていない荒れた農地や原野が増えている	大規模な太陽光発電施設や盛土などによって景観が阻害されている	駅周辺に賑わいが無い	災害対策に不安がある	特に問題はない	その他（自由記述）
龍ヶ崎市内 (n=1565)	780	226	267	82	574	55	325	233	1084	167	28	117
龍ヶ崎市外 (n=30)	17	5	3	3	10	0	6	4	20	3	1	3

※各居住地の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■土地利用（居住地区別）

	管理されていない空き家、空き店舗が増えている	資材置き場や空き地が増えている	車がすれ違えないような狭い道路が多い	開発により自然環境が失われている	店舗やサービス施設が不足している	丁字路が多く、回遊性に欠ける	手入れされていない荒れた農地や原野が増えている	景観が阻害されている	大規模な太陽光発電施設や盛土などによって	駅周辺に賑わいが無い	災害対策に不安がある	特に問題はない	その他（自由記述）
大宮地区 (n=46)	28	11	9	3	17	3	14	8	23	7	1	1	
北文間地区 (n=35)	21	4	2	0	19	0	8	2	22	4	1	3	
龍ヶ崎地区 (n=214)	128	26	47	13	88	10	45	26	138	23	3	14	
龍ヶ崎西地区 (n=55)	40	7	9	3	16	1	13	4	39	7	0	4	
馴染地区 (n=203)	102	25	35	7	83	6	41	22	158	31	2	18	
川原代地区 (n=65)	33	4	23	5	16	1	15	5	45	16	0	4	
松葉地区 (n=140)	72	27	12	6	54	2	26	23	104	9	2	7	
長山地区 (n=152)	77	39	13	12	62	2	22	36	107	14	2	6	
馴染台地区 (n=94)	47	16	18	2	40	7	16	9	72	6	3	12	
久保台地区 (n=146)	54	21	13	8	61	5	25	26	116	11	2	11	
長戸地区 (n=27)	16	4	8	2	7	1	11	12	14	2	0	0	
八原地区 (n=223)	96	19	39	13	68	9	48	44	149	22	6	18	
城ノ内地区 (n=164)	66	23	39	4	43	8	42	16	97	15	6	19	
回答しない (n=1)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	

※各地区の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

3.5. 今後のまちづくり

(1) 今後のまちづくりについての重要度

1) まちづくりにおいて重要な項目

「重要」(5点)、「やや重要」(4点)、「普通」(3点)、「あまり重要でない」(2点)、「重要でない」(1点)とした場合の平均値を算出した。

全般的に重要度の平均値は「普通」(3点)よりやや高い評価となっている。

最も重要度の平均値が高いのは「若者・子育て世代の定住促進」(4.36)で、次いで「公共交通網の充実」(4.22)、「駅周辺の賑わいづくり」(4.20)となっている。

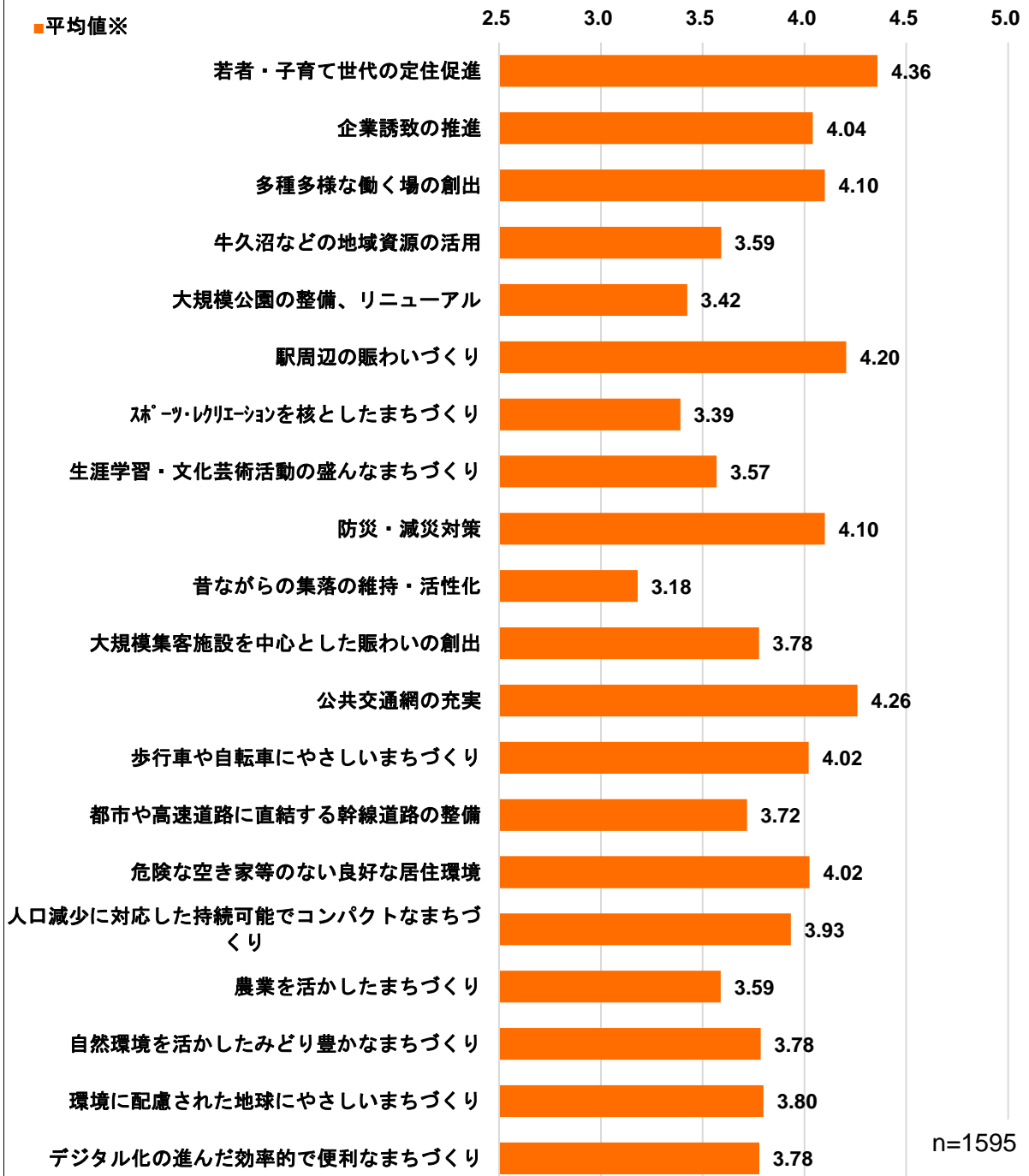
「重要」と答えた割合については、「若者・子育て世代の定住促進」(57.6%)が最も多く、次いで「駅周辺の賑わいづくり」(50.5%)、「公共交通網の充実」(50.2%)の順となっている。

「重要でない」と答えた割合については、「昔ながらの集落の維持・活性化」(5.5%)が最も多く、「スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり」(3.8%)、「牛久沼などの地域資源の活用」(3.5%)の順になっている。

設問及び選択肢
〔問21〕 龍ヶ崎市の今後のまちづくりについて、重要度をお答えください。下記の項目について、あなたの考えに1番近いものをそれぞれ1つお選びください。

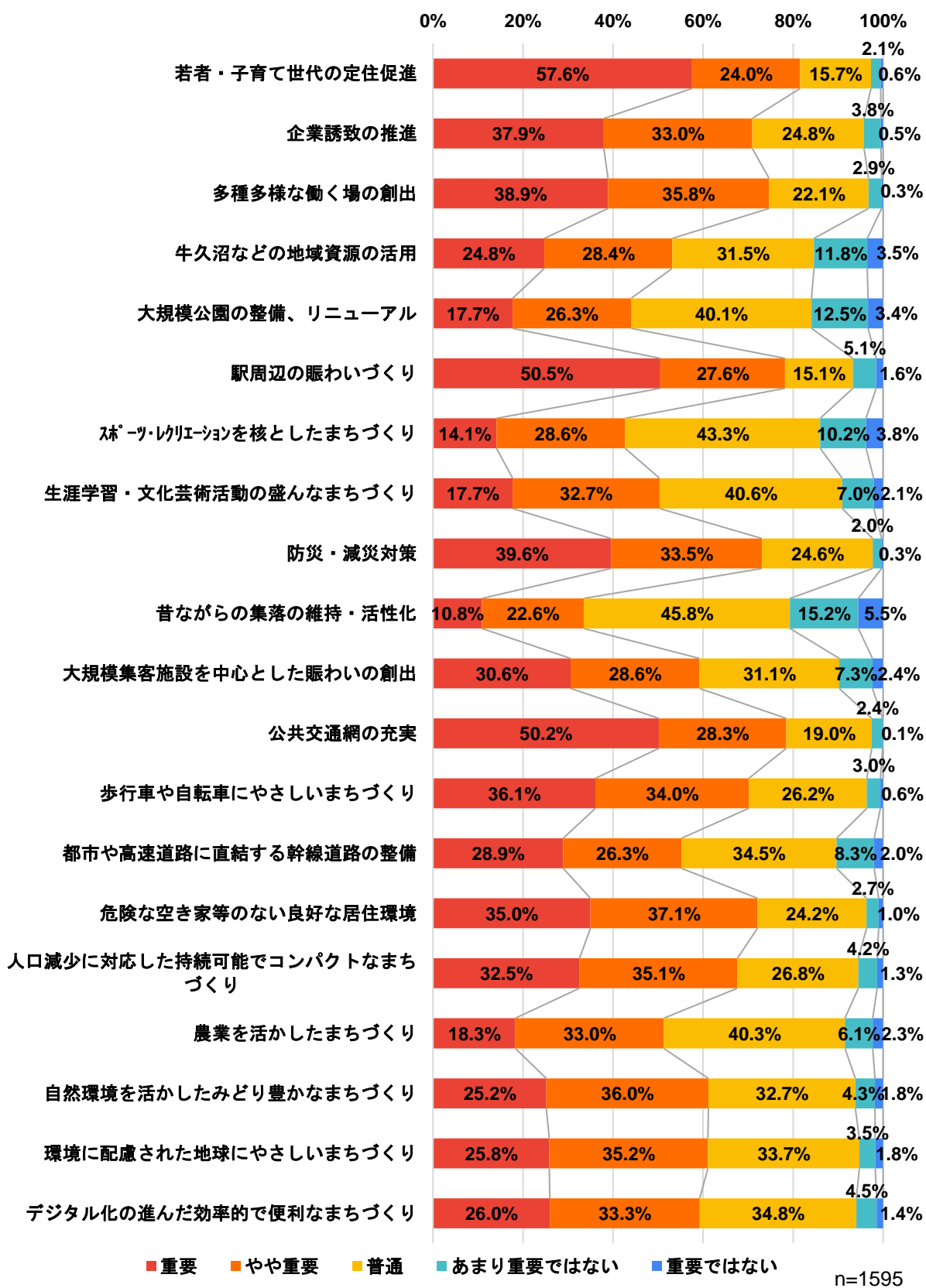
集計結果

■重要度（平均値）



※平均値：「重要」（5点）、「やや重要」（4点）、「普通」（3点）、「あまり重要でない」（2点）、「重要でない」（1点）とした場合の平均値を算出

■重要度（全体集計）



(2) 今後のまちづくりにおける特に重要な項目

1) まちづくりにおいて重要な項目

「若者・子育て世代の定住促進」(886票)が最も多く、次いで「駅周辺の賑わいづくり」(617票)、「公共交通網の充実」(468票)の順となっている。

年齢別では、「10歳代」以外の年代で「若者・子育て世代の定住促進」が最も多くなっており、「10歳代」では、「公共交通網の充実」が7票と最も多くなっている。

居住地別では、「龍ヶ崎市内」では、「若者・子育て世代の定住促進」が872票で最も多く、次いで「駅周辺の賑わいづくり」(606票)、「公共交通網の充実」(462票)の順になっている。「龍ヶ崎市外」では、「若者・子育て世代の定住促進」が14票で最も多く、次いで「駅周辺の賑わいづくり」(11票)、「牛久沼などの地域資源の活用」(9票)の順になっている。

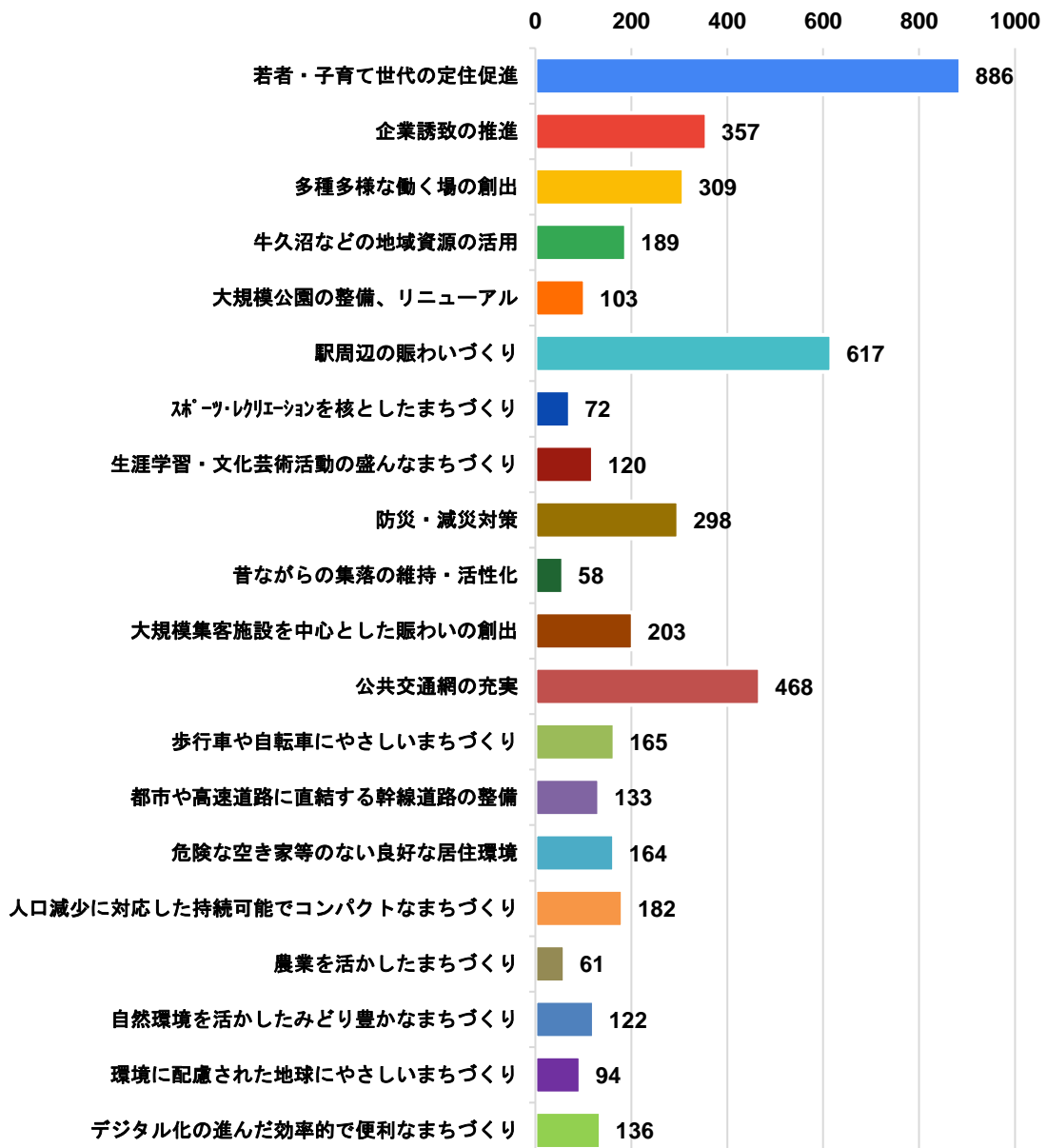
居住地区別では、「馴染地区」以外の全地区で「若者・子育て世代の定住促進」が最も多くなった。「馴染地区」では、「駅周辺の賑わいづくり」が110票と最も多くなっている。

設問及び選択肢

〔問22〕 問21のうち、あなたが今後のまちづくりにおいて特に重要だと思う項目を3つお選びください。

集計結果

■重要な項目（全体集計）



n=1595

■重要な項目（年齢別）

	10歳代 (n=11)	20歳代 (n=65)	30歳代 (n=186)	40歳代 (n=298)	50歳代 (n=361)	60歳代 (n=355)	70歳代 (n=249)	80歳代 以上 (n=27)	回答しな い(n=13)
1	3	45	135	161	162	193	153	14	6
2	0	11	31	77	90	78	53	10	1
3	0	9	33	51	70	66	58	10	5
4	1	6	13	33	42	51	29	5	0
5	1	10	23	21	22	16	8	0	0
6	1	25	53	112	145	146	112	7	5
7	3	2	10	16	10	14	14	0	0
8	1	3	7	10	19	34	38	4	0
9	4	13	38	56	70	69	36	4	4
10	2	2	6	12	16	13	3	0	1
11	0	9	24	39	49	39	31	3	3
12	7	14	51	83	125	105	71	4	2
13	3	13	21	35	38	30	23	1	0
14	0	7	19	31	40	26	7	0	2
15	1	5	23	38	35	34	21	2	0
16	0	5	13	20	42	42	46	6	4
17	0	3	3	14	14	19	5	1	1
18	2	5	8	21	30	35	17	3	1
19	1	1	10	20	27	26	7	2	0
20	2	7	31	32	23	22	12	4	2

1 若者・子育て世代の定住促進

2 企業誘致の推進

3 多種多様な働く場の創出

4 牛久沼などの地域資源の活用

5 大規模公園の整備・リニューアル

6 駅周辺の賑わいづくり

7 スポーツ・レクリエーションを核とした
まちづくり

8 生涯学習・文化芸術活動の盛んなまちづ
くり

9 防災・減災対策

10 昔ながらの集落の維持・活性化

11 大規模集客施設を中心とした賑わいの
創出

12 公共交通網の充実

13 歩行者や自転車にやさしいまちづくり

14 都市や高速道路に直結する幹線道路の
整備

15 危険な空き家等のない良好な居住環境

16 人口減少に対応した持続可能でコンパ
クトなまちづくり

17 農業を活かしたまちづくり

18 自然環境を活かしたみどり豊かなまち
づくり

19 環境に配慮された地球にやさしいまち
づくり

20 デジタル化の進んだ効率的で便利なま
ちづくり

※各年代の上位第一位を赤色：■、第
二位を橙色：■、第三位を黄色：■と
した。

■重要な項目（居住地別）

	龍ヶ崎市内(n=1565)	龍ヶ崎市外(n=30)
1	872	14
2	351	6
3	302	7
4	180	9
5	101	2
6	606	11
7	69	3
8	116	4
9	294	4
10	55	3
11	197	6
12	462	6
13	164	1
14	132	1
15	159	5
16	178	5
17	60	1
18	122	0
19	94	0
20	135	1

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 若者・子育て世代の定住促進 | 12 公共交通網の充実 |
| 2 企業誘致の推進 | 13 歩行者や自転車にやさしいまちづくり |
| 3 多種多様な働く場の創出 | 14 都市や高速道路に直結する幹線道路の整備 |
| 4 牛久沼などの地域資源の活用 | 15 危険な空き家等のない良好な居住環境 |
| 5 大規模公園の整備・リニューアル | 16 人口減少に対応した持続可能でコンパクトなまちづくり |
| 6 駅周辺の賑わいづくり | 17 農業を活かしたまちづくり |
| 7 スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり | 18 自然環境を活かしたみどり豊かなまちづくり |
| 8 生涯学習・文化芸術活動の盛んなまちづくり | 19 環境に配慮された地球にやさしいまちづくり |
| 9 防災・減災対策 | 20 デジタル化の進んだ効率的で便利なまちづくり |
| 10 昔ながらの集落の維持・活性化 | |
| 11 大規模集客施設を中心とした賑わいの創出 | |

※各居住地の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

■重要な項目（居住地区別）

	大宮地区	北文間地区	龍ヶ崎地区	龍ヶ崎西地区	駒柴地区	川原代地区	松葉地区	長山地区	駒馬台地区	久保台地区	長戸地区	八原地区	城ノ内地区	回答しない
1	25	22	120	36	109	28	83	94	50	75	16	114	99	1
2	8	14	43	16	42	12	30	39	28	25	4	57	33	0
3	3	9	44	15	34	17	28	32	14	19	5	43	39	0
4	4	0	21	3	38	11	20	14	12	25	1	19	12	0
5	3	0	13	2	14	2	9	12	9	5	1	20	11	0
6	14	7	77	17	110	27	62	60	46	62	5	79	39	1
7	2	0	14	2	8	3	4	5	4	6	1	11	9	0
8	4	5	17	2	12	6	14	12	8	9	2	18	7	0
9	12	7	48	11	49	19	21	27	13	24	7	31	25	0
10	6	2	13	3	2	2	1	3	3	4	7	6	3	0
11	4	4	20	1	19	3	22	15	8	35	3	38	24	1
12	19	13	58	14	41	15	34	43	29	51	8	84	53	0
13	4	2	26	5	26	9	12	11	5	15	1	24	24	0
14	6	2	16	4	15	6	8	5	6	4	4	30	26	0
15	5	2	29	7	23	9	12	19	6	11	5	20	11	0
16	5	2	18	9	24	5	23	20	14	16	3	20	19	0
17	4	2	7	4	4	6	5	6	3	8	5	4	2	0
18	3	4	22	3	4	6	13	12	7	16	1	15	16	0
19	5	3	12	5	11	2	10	6	3	8	1	14	14	0
20	1	4	19	5	18	4	5	17	10	16	1	16	19	0

1 若者・子育て世代の定住促進

2 企業誘致の推進

3 多種多様な働く場の創出

4 牛久沼などの地域資源の活用

5 大規模公園の整備・リニューアル

6 駅周辺の賑わいづくり

7 スポーツ・レクリエーションを核としたまちづくり

8 生涯学習・文化芸術活動の盛んなまちづくり

9 防災・減災対策

10 昔ながらの集落の維持・活性化

11 大規模集客施設を中心とした賑わいの創出

12 公共交通網の充実

13 歩行者や自転車にやさしいまちづくり

14 都市や高速道路に直結する幹線道路の整備

15 危険な空き家等のない良好な居住環境

16 人口減少に対応した持続可能でコンパクトなまちづくり

17 農業を活かしたまちづくり

18 自然環境を活かしたみどり豊かなまちづくり

19 環境に配慮された地球にやさしいまちづくり

20 デジタル化の進んだ効率的で便利なまちづくり

※各地域の上位第一位を赤色：■、第二位を橙色：■、第三位を黄色：■とした。

3.6. コロナ禍と現在での生活の変化

「増えた」(1点)、「変わらない」(0点)、「減った」(-1点)とした場合の平均値を算出した。最も変化の度合いが高いのは「ネットショッピングの利用頻度」(0.24)、次いで、「自宅で過ごす時間」(0.23)、「自家用車の利用頻度」(0.18)の順となっている。

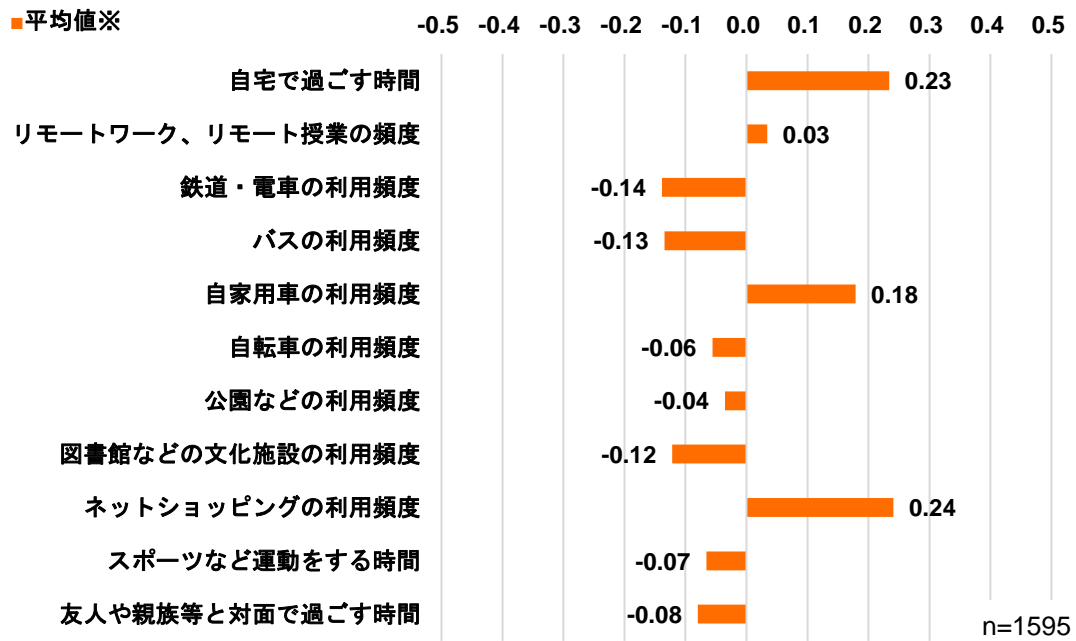
「増えた」と回答した割合が最も高いのは、「自宅で過ごす時間」(34.1%)、「減った」と回答した割合が最も高いのは、「友人や親族等と対面で過ごす時間」(31.5%)となった。

設問及び選択肢

〔問23〕今年の5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変わりましたが、コロナ禍と現在の様子を比較し、生活様式の頻度等について変化がありましたか。あなたの考えに1番近いものをそれぞれ1つお選びください。

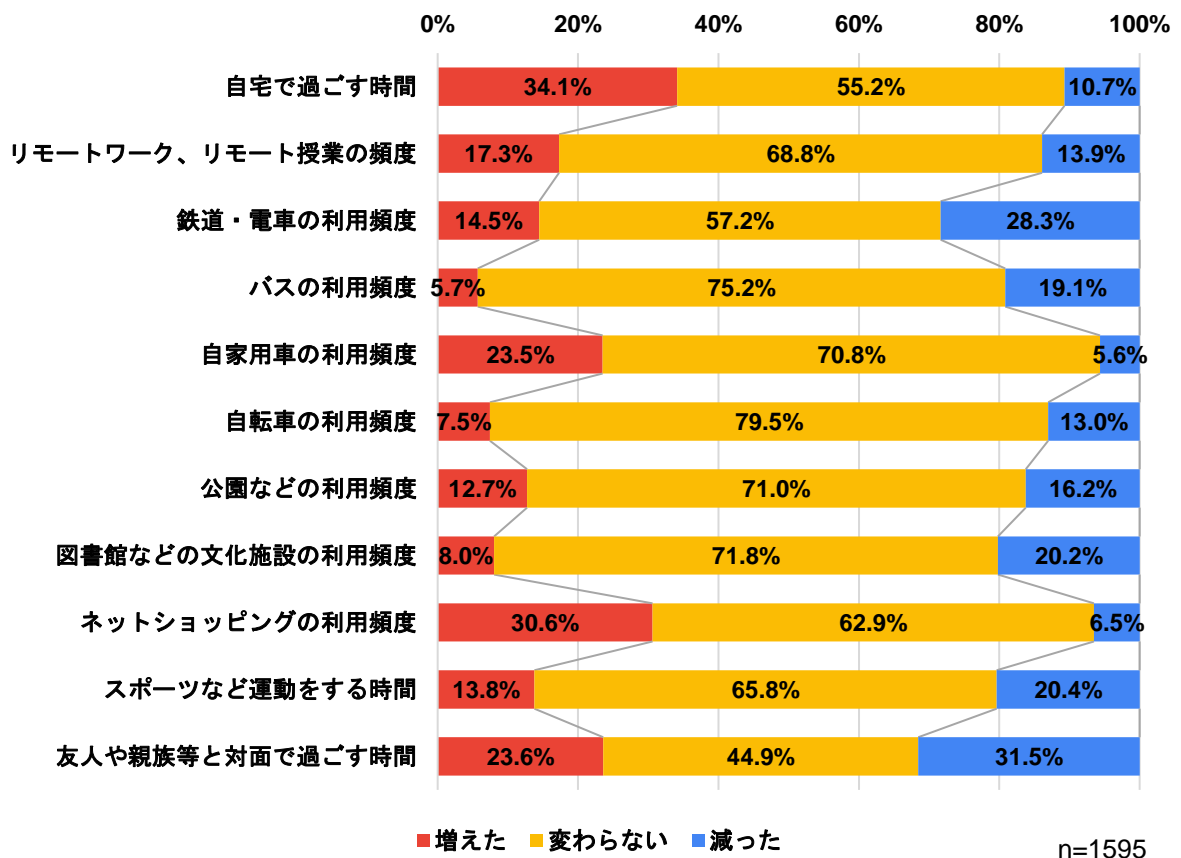
集計結果

■ コロナ禍と現在での生活の変化（平均値）



※平均値：「増えた」（1点）、「変わらない」（0点）、「減った」（-1点）とした場合の平均値を算出

■ コロナ禍と現在での生活の変化（全体集計）



3.7. 龍ヶ崎のまちづくりについての意見

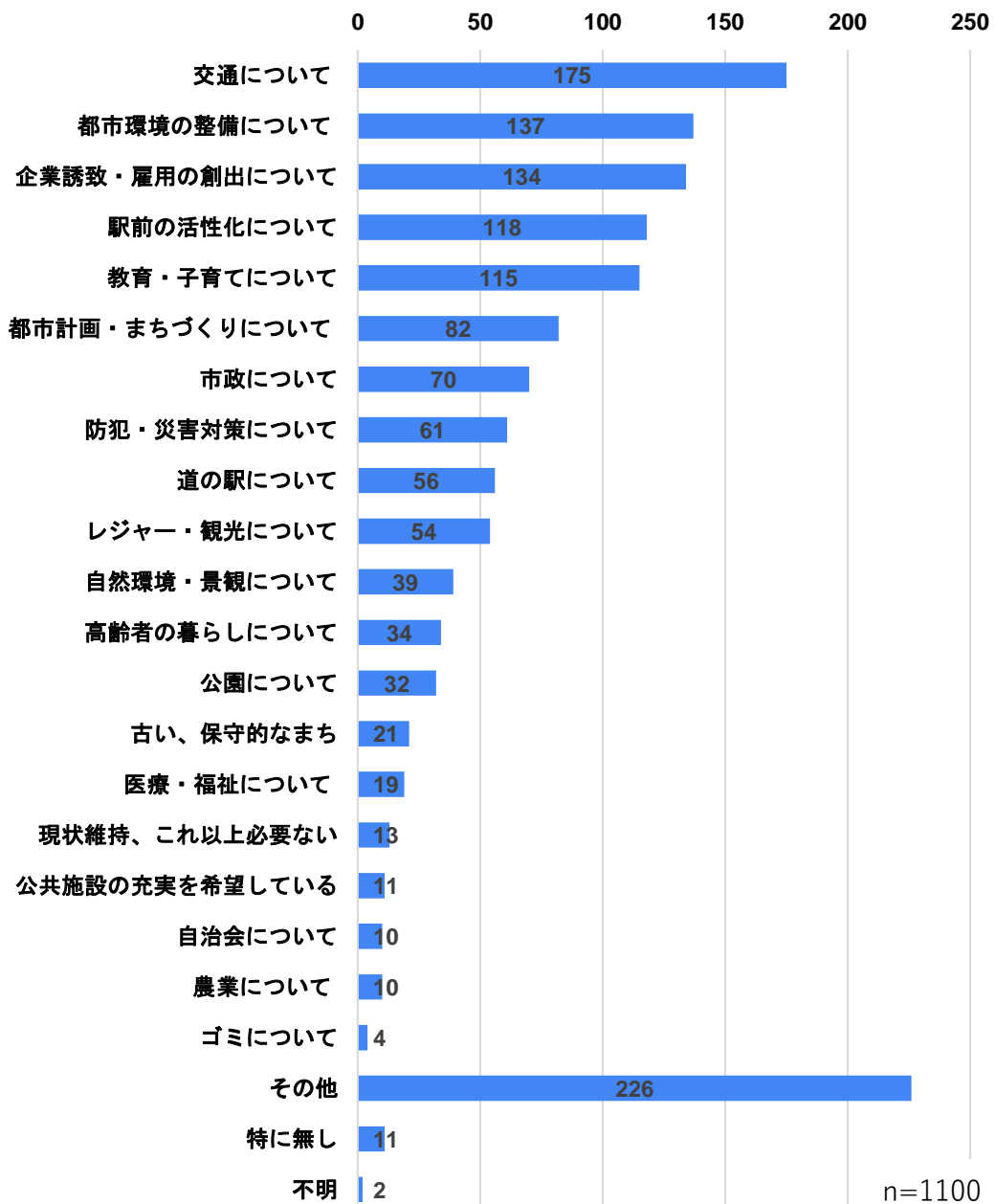
龍ヶ崎市のまちづくりについて意見の自由記述回答者数は 1100 名であった。なお、1 名の回答者が複数分野について回答している場合、重複して計上し、意見数は 1434 件となった。

分野別に意見数を見ると、「交通について」の意見が 175 件と最も多く、「都市環境の整備について」が 137 件、「企業誘致・雇用の創出について」が 134 件となった。

主な意見の概要を以下に示す。

設問及び選択肢
〔問24〕最後に、龍ヶ崎市のまちづくりについて、あなたの考えをお聞かせください。

集計結果



■主な意見

分野	意見
交通について	<ul style="list-style-type: none"> • 土日祝日のバスの本数を増やして頂けると助かります。 • 常磐線と駅バスの連携がよくないと思います。
都市環境の整備について	<ul style="list-style-type: none"> • 幹線道路さえ草が多く、歩道も歩きにくい。住環境のイメージも悪く改善すべき。 • 遊歩道を整備してほしい。
企業誘致・雇用の創出について	<ul style="list-style-type: none"> • 働く世代の環境整備、雇用創出をお願いしたい。 • 企業誘致を積極的に行なって、税収を増やしてほしい。収入がないことには、何もできない。
駅前活性化について	<ul style="list-style-type: none"> • 駅前の活性化をしてほしい。 • 駅周辺はもう少し賑わいがあった方がいい。
教育・子育てについて	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て世代に厳しすぎる時代なので、どうか子育て支援の充実をお願いいたします。近隣自治体でも行っている給食費の無償化を実現していただきたいです。PTAも現代の生活には全く馴染まないで、廃止してほしいです。任意団体のはずなのに入会は実質強制で、入会することのデメリットが多すぎます。 • 収入が少ないのに対して子どもにかかるお金がとても多いので市独自で少しでも補助があると人も集まるのではないかと思う。
都市計画・まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> • 歴史あるまちが多いことは誇らしい。しかし、空き家や空き店舗が増えているなかで、昔からの良さを引き継ぎつつ、令和以降も住みやすい街づくりを住民と大学等（流经大含む周辺学校）と行政で具現化してもいいと考えます。 • せっかく駅名も変わったので、道の駅を含めた広域での動線で地域経済の活性化に繋げて欲しいです。よろしくをお願いします。
防犯・災害対策について	<ul style="list-style-type: none"> • 防犯面からの空き家対策はきちんとして欲しい。 • 昨今の災害事情をふまえ、今までの防災対策では対応しきれない状況が発生する可能性があるため防災計画や避難計画等の見直しまたは補完が必要と考える。また、デジタル防災同報無線に移行時に子局の削減を行っているが結果、放送が聞こえない事象が発生している。市ではメールサービスやスマホアプリの活用を促進しているが高齢者単独では使いこなせない現状をみていただきたい。（若い世代からみて自分たちが使えるから誰でも使えるだろうという考えは高齢者には通用しません。）そのため個別別受信機の貸し出しや放送の再送信等の検討を頂きたい。検討される際には微力ながら協力したいと考えている。
道の駅について	<ul style="list-style-type: none"> • 無駄な道の駅は要らない。（市民のアンケート結果が無意味である） • 道の駅は、現状の場所からお金がかかっても利用ニーズのある場所に開設した方が良くと思います。現

	<p>在の予定地よりも文化会館周辺の方が良いような気がします。</p>
レジャー・観光について	<ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市に魅力(ここに来れば茨城県の美味しいものが全部揃っている道の駅等)を牛久沼ではなくニュータウンや市役所近くに観光客引き寄せる場所に造ったり、全国から来場が見込めるスポーツ施設(ボルダリング等)整備して龍ヶ崎市に人を引き寄せるものを考えてみる。 牛久沼を活用した外部からの人の誘致。商店街等の歴史を活用してほしい。
市政について	<ul style="list-style-type: none"> 今後は、人口減少が見込まれることから税収と支出のバランスをとり無理のない市政運営してほしい。 魅力的な街を県外に向け発信して下さい。まずは龍ヶ崎市の知名度を上げる施策が必要です。
自然環境・景観について	<ul style="list-style-type: none"> 過剰な道路整備が目立ち、それによる森林の喪失を懸念。自然豊かな街が失われつつある。豊かな自然を求めて移住したが私個人の立場でいうと本末転倒である。 今ある資源を壊すことなく、自然と歴史を守り、旧市街の活性化を目指すべきかと思います。
高齢者の暮らしについて	<ul style="list-style-type: none"> もっと高齢者が住みやすい環境になると良いと思う。 数字以上に本当に高齢化が進んだ街と認識しています。若者の誘致や子育て世代に対してのアプローチは大前提ですが、高齢化についても同等以上ケアやサービス、アクセスの利便性を考えるべき。済生会病院、牛尾病院にも、買い物にも行けない高齢者が多くいる。
公園について	<ul style="list-style-type: none"> 公園は各所にあるものの禁止事項も多いです。キックボードをしたりボールを使った遊び等 北竜台公園のような大きな公園まで行かなくても、もっと伸び伸びできる場所が近所にあつたらと思います。あまり利用されていない公園をキックボードに特化した場所にする等思いっきり遊べる場所を提供してほしいです 公園に綺麗なトイレを設置し、子どもたちが公園でゆったりと遊べるようにしてほしい。トイレを作るにあたって防犯対策もしてほしい。 行部内公園などの古くなったトイレを改装してほしい。改装が難しかったら定期的に掃除をしてほしい。
古い、保守的なまち	<ul style="list-style-type: none"> 街づくりを真剣に考えているのか、本当に良い街にしたいと考えているのか、甚だ疑問である。様々なしがらみや、昔からの考えばかり尊重し、何も変えようとならない龍ヶ崎市。あまり期待はしていない。 活性化のない街になっていくようにみえます。古い考え方が残っているのなら捨てていただきたいです。
医療・福祉について	<ul style="list-style-type: none"> 小児心療内科を作ってほしい。発達障害児や不登校児が自由に過ごせるフリースクールを作ってほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> 大規模医療施設の誘致をし、高齢者及び子育て世代が、安心して暮らせるまちづくりをお願いしたい。近隣市に比べて市内医療施設が少なすぎる。
現状維持、これ以上必要ない	<ul style="list-style-type: none"> 今の環境に満足しています。 無理やり何かする必要は無い。中途半端な事したり成果が出そうに無い事をして税金の無駄遣いはしないで欲しい。
公共施設の充実を希望している	<ul style="list-style-type: none"> 図書館をおしゃれにリニューアルして欲しい。 スポーツ推進の割には施設に偏りがある。その割には整備や取り組みが中途半端で、街としてどうしたいかが見えない。
自治会について	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民同士がもっとつながり合える仕組みや機会があると良い。 自治会単位で、子供から高齢者までがコミュニティを活発にする支援が欲しい。
農業について	<ul style="list-style-type: none"> 農業者の高齢化が気にかかります。 農業も盛んな所なのに、農作物を全国的に届けられるシステムを考えて欲しい。
ゴミについて	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ収集を各建物毎に行ってください。回数が減ってもかまいません。ルールを守らない人のせいで集積場所近くの住民は毎日のように嫌な思いをしています。建物毎の収集はすでに多くの自治体で実施されています。できない理由はないと思います。 年に1回は地域ごとにゴミ拾いを復活させて欲しい。近所の人と顔合わせも必要ですしその時に集金も出来るので。あとゴミの散乱が目立つ様になった。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 市内にお金を稼げる場所と落とせる場所の双方がバランスよく存在する必要があると思う。 県外からの居住ですが、ほどよく都心にも近く、車があれば生活には全く困らない、田畑も豊富で野菜も美味しく気に入ってます。